

2020 年度研究年報

第 17 号

2021 年 11 月

東京都立大学 健康福祉学部



東京都立大学

東京都立大学
2020 年度 研究年報

第 17 号

2021 年 11 月

目次

学部長

教授 渡辺 賢 ……………3

看護学科

学科長 織井 優貴子……………6
教授 安達 久美子……………8
教授 河原 加代子……………10
教授 斉藤 恵美子……………11
教授 習田 明裕 ……………12
教授 西村 ユミ ……………13
教授 山本 美智代……………15
准教授 飯塚 哲子 ……………16
准教授 石川 陽子 ……………18
准教授 岡本 有子 ……………19
准教授 木村 千里 ……………20
准教授 島田 恵 ……………22
准教授 園部 真美 ……………23
准教授 種吉 啓子 ……………24
准教授 菱沼 由梨 ……………25
准教授 福井 里美 ……………26
准教授 増谷 順子 ……………27
准教授 三浦 里織 ……………28
助教 巖 千晶 ……………29
助教 海老名 泉紀……………30
助教 大庭 貴子 ……………31
助教 奥村 朱美 ……………32
助教 川添 美花 ……………33
助教 前田 耕助 ……………34
助教 三輪 聖恵 ……………35
助教 村上 優子 ……………36

理学療法学科

学科長 山田 拓実 ……………38
教授 浅川 康吉 ……………39
教授 網本 和 ……………41
教授 易 勤 ……………44
教授 池田 由美 ……………46
教授 古川 順光 ……………47
准教授 宇佐 英幸 ……………48
助教 神尾 博代 ……………49
助教 儀間 裕貴 ……………50
助教 田島 敬之 ……………51

作業療法学科

学科長 塩路 理恵子……………53
教授 伊藤 祐子 ……………54
教授 大嶋 伸雄 ……………56
教授 小林 法一 ……………58
教授 小林 隆司 ……………60
准教授 石橋 裕 ……………63
准教授 井上 薫 ……………64
准教授 蘭牟田 洋美……………66
准教授 谷村 厚子 ……………68
准教授 橋本 美芽 ……………69
准教授 宮本 礼子 ……………70
助教 佐藤 葉子 ……………72

放射線学科

学科長 白川 崇子 ……………74
教授 井上 一雅 ……………76
教授 小倉 泉 ……………81
教授 眞正 浄光 ……………82
教授 沼野 智一 ……………84
准教授 根岸 徹 ……………88
准教授 明上山 温 ……………89

注)所属・職位は2021年4月現在

《表記方法等》

1 研究活動の掲載期間は、2020年4月から2021年3月までである。

2 論文には、査読付きの業績を記載している。

【記載対象】学術論文、国際会議プロシーディングス、大学・研究機関紀要、研究会・シンポジウム資料、
その他学術会議資料、学位論文等

【読み方】氏名：タイトル．掲載媒体，掲載箇所，発表年月

3 著書は、著書、編書、訳書、共著、共編、共訳を含んでいる。

【記載対象】単行本、事典・辞書、地図、音楽資料、映像、画像等

【読み方】氏名：タイトル．担当範囲，出版社，出版年月

4 Misc (Miscellaneous, 種々雑多なもの)は、基本的に査読なしの業績を含んでいる。

【記載対象】研究論文、速報・短報・研究ノート等(学術雑誌、大学・研究機関紀要)、
研究発表要旨(国際会議、全国大会、その他学術会議)、機関テクニカルレポート、
プレプリント、総論・解説(学術雑誌、国際会議プロシーディングス、大学・研究所、
商業誌・新聞・ウェブメディア等)、講義資料(セミナー、チュートリアル、講習、講義他)、
書評、文献紹介、会議報告、その他記事

【読み方】氏名：タイトル．掲載媒体，掲載箇所，発表年月

5 講演・口頭発表等は、講演や国内会議、国際会議などにおいて発表された業績を含んでいる。

【記載対象】口頭発表(一般、招待・特別、基調講演)、ポスター発表、シンポジウム・ワークショップパネル
(公募、指名)、公開講演、セミナー、チュートリアル、講習、講義、メディア報道

【読み方】氏名：タイトル．発表の場，発表年月

6 競争的研究費の課題は、分担研究者となっている業績を含んでいる。

【読み方】氏名：研究費の種類「タイトル」，期間・年月

7 社会貢献活動は、イベント、番組、新聞雑誌など、社会的に貢献した業績を対象としている。

【読み方】氏名：活動内容・タイトル．主催・媒体名，期間・年月

8 外国語で発表された論文等は、原則としてそのまま表記している

健康福祉学部長

講演・口頭発表等

- 1) 渡邊賢,中原直哉,石田行知:ミオシン機能変調による平滑筋細いフィラメント構造の攪乱,第 62 回日本平滑筋学会総会 62nd Annual Meeting of Japan Society of Smooth Muscle Research, 2020/12/20
- 2) 三橋聡子,渡邊賢:盲腸紐および経動脈スキンド標本に対する Cytochalasin D と Latrunculin B の弛緩促進作用のメカニズム,第 62 回日本平滑筋学会総会 62nd Annual Meeting of Japan Society of Smooth Muscle Research,2020/12/20
- 3) 榎木康之,渡邊賢:Protein phosphatase 2A 阻害薬 rubratoxin A の前処置が平滑筋収縮に及ぼす影響,第 62 回日本平滑筋学会総会 62nd Annual Meeting of Japan Society of Smooth Muscle Research,2020/12/20
- 4) 大塚早智子,渡邊賢:モルモット総頸動脈スキンド平滑筋標本の弛緩経過におけるクリアチンキナーゼ阻害薬とミトコンドリア阻害薬の影響,第 62 回日本平滑筋学会総会 62nd Annual Meeting of Japan Society of Smooth Muscle Research, 2020/12/20
- 5) 石田行知,三橋聡子,大塚早智子,中原直哉,渡邊賢:摘出モルモット盲腸紐における 1-fluoro-2,4-dinitrobenzene (FDNB)による収縮 反応の Ca^{2+} 依存性,第 62 回日本平滑筋学会総会 62nd Annual Meeting of Japan Society of Smooth Muscle Research,2020/12/20
- 6) 榎木康之,渡邊賢,竹谷浩介:BP2 Inhibitory effects of rubratoxin A, a potent inhibitor of protein phosphatase 2, on the Ca^{2+} -dependent contraction of skinned carotid artery from guinea pig,第 62 回日本平滑筋学会総会 62nd Annual Meeting of Japan Society of Smooth Muscle Research,2020/12/20
- 7) 渡邊賢,大塚早智子:Relaxation process in beta escin skinned taenia cecum in the presence of nucleotides other than ATP, 第 98 回に補生理学会大会 the 98th Annual Meeting of The Physiological Society of Japan, .2021/3/28

受賞

- 1) 三橋聡子,渡邊賢:第 62 回日本平滑筋学会総会 第 62 回日本保健科学学会総会ポスター賞「盲腸紐および経動脈スキンド標本に対する Cytochalasin D と Latrunculin B の弛緩促進作用のメカニズム」, 2020/12
- 2) 榎木康之,渡邊賢,竹谷浩介:日本平滑筋学会 Journal of Smooth Muscle Research 優秀論文賞「Inhibitory effects of rubratoxin A, a potent inhibitor of protein phosphatase 2, on the Ca^{2+} -dependent contraction of skinned carotid artery from guinea pig」, 2020/4

委員歴

- 1) 日本生理学会 評議員(1994/3-)
- 2) 日本生理学会 編集広報委員会委員(2006/3-)
- 3) 日本平滑筋学会 評議員(2009/7-)
- 4) 日本平滑筋学会 広報委員会・委員長(2015/7-)
- 5) 日本平滑筋学会 理事(2015/8-)
- 6) 日本体力医学会 編集委員会委員(2015/10-)
- 7) 日本平滑筋学会 将来構想委員会委員(2016/8-)
- 8) 日本平滑筋学会 規約委員会(2016/8-)

- 9) 日本平滑筋学会 学術プログラム委員会委員(2016/8-)
- 10) 日本生理学会 将来計画員会 委員長(2018/3-)
- 11) 日本生理学会 100周年記念事業委員会委員(2020/4-)

看 護 学 科

論文

- 1) 織井優貴子:高齢期にある永久的人工肛門造設者の手術経過年数に応じた支援と QOL,日本がん看護学会学術集会(Web), 4th:[07-030], 2020

著書

- 1) リハビリテーション看護:障害のある人の可能性とともに歩む,地域包括ケアシステムにおけるリハビリテーション看護, 南江堂, 2021/1

講演・口頭発表等

- 1) 織井優貴子:看護シミュレーション教育の進め方【シミュレーション教育のシナリオを 作成してみよう】The Progress of Simulation based Nursing Education,岐阜県看護協会 令和2年度 看護人材現任者研修,2020/8/20
- 2) 看護シミュレーション教育の進め方【設計・評価】,2020/10/4
- 3) Yukiko ORII:Relationship between QOL and support elderly patients with permanent colostomies wish for - Analysis by number of years since surgery - Relationship between QOL and support elderly patients with permanent colostomies wish for - Analysis by number of years since surgery -,International Conference on Cancer Nursing (ICCN),2021/2/5
- 4) 織井優貴子:国際水準シミュレーション基盤型看護教育システムの構築と評価,東京都立大学国際シンポジウム 2020 The International Symposium of Tokyo Metropolitan University for Simulation-based Nursing Education, 2020,2021/3/14

競争的資金等の研究課題

- 1) 織井優貴子,黒河内仙奈,河西敏幸,井上薫:日本学術振興会 科学研究費助成事業 挑戦的研究(萌芽)「在宅療養高齢者が生き生き過ごすための「コミュニケーションロボット」の活用と評価」,2019/6/28-2022/3/31
- 2) 織井優貴子:日本学術振興会 科学研究費助成事業 挑戦的研究(萌芽)「在宅療養高齢者が生き生き過ごすための「コミュニケーションロボット」の活用と評価」,2019/7-2022/3

社会貢献活動

- 1) 岐阜県看護協会:看護シミュレーション教育の進め方【シミュレーション教育のシナリオを 作成してみよう】,2020/8/20

委員歴

- 1) 日本保健科学学会 評議委員(2006-)
- 2) Cheju Halla University / New castle PBL Center Editorial board member(2008-)
- 3) 日本医療教授システム学会 編集委員(2010/10-)
- 4) 日本医療教授システム学会 理事(2010-)
- 5) 日本がん看護学会 評議員(2010-)

- 6) Japan Journal of NURSING SCIENCE 査読委員(2012-)
- 7) 日本看護科学学会 査読委員(2013-)
- 8) 日本シミュレーション医療教育学会 評議委員(2013-)
- 9) 日本看護シミュレーションラーニング学会 理事(2019/4-)

論文

- 1) 片岡優華,安達久美子:経産婦における前回の出産体験の自己評価と妊娠後期の心理・社会的適応、不安との関連,母性衛生, 61(2):361-368, 2020/7
- 2) 水尾智佐子,安達久美子,久保幸代,菱沼由梨:硬膜外麻酔分娩における助産ケアに関する質的研究,母性衛生, 61(4):498-507, 2021/1

著書

- 1) 助産師による思春期の健康教育, 日本助産師会出版, 2020/9
- 2) アドバンス助産師育成のための教育プログラム, 医学書院, 2021/2

Misc

- 1) 安達久美子:助産業務ガイドライン 2019 発行と改訂のポイント,助産雑誌, 74(5):358-360, 2020/5
- 2) 安達久美子:最新情報(その1) 助産実践に必須のコンピテンシー,助産師, 74(3):26-28, 2020/8
- 3) 安達久美子:【助産カアアップ!周産期のガイドライン 深掘りドリル 200 問『産婦人科診療ガイドライン:産科編 2020』に準拠 難易度別助産ケア&最新エビデンスが満載!】(第2章)分娩期 助産所・院内分娩の新生児管理『助産業務ガイドライン 2019』より出題,ベリネイタルケア, (2021 新春増刊):203-210, 2021/1

講演・口頭発表等

- 1) 風間仁美,安達久美子:新型コロナウイルス PCR スクリーニング検査を受けた妊婦の PCR スクリーニング検査に対する思い,第 35 回日本助産学会学術集会,2021/3
- 2) 安達久美子,菱沼由梨,石川紀子:看護・助産学分野における無痛分娩に関する国内研究の動向,第 35 回日本助産学会学術集会,2021/3
- 3) 巖千晶,菱沼由梨,安達久美子:with コロナにおける 分娩介助実習の実現に向けた学内実習の取り組みと実際,第 35 回日本助産学会学術集会,2021/3
- 4) 菱沼由梨,巖千晶,安達久美子:with コロナにおける分娩介助実習の実際 - 感染拡大を防止するための取り組み,第 35 回日本助産学会学術集会,2021/3
- 5) 佐藤拓代,安達久美子,鏈溝和子:予期せぬ妊娠への支援 相談窓口の現状,母性衛生, 61(3):238, 2020/9
- 6) 當山紀子,佐藤拓代,安達久美子,鏈溝和子,山口実花,中村安秀,公益社団法人母子保健推進会議:母子健康手帳の多言語化及び効果的な支援方法(第3報) 外国人親子への支援事例,日本公衆衛生学会総会抄録集, 79 回:359, 2020/10
- 7) 安達久美子,佐藤拓代,當山紀子,鏈溝和子,山口実花,中村安秀,公益社団法人母子保健推進会議:母子健康手帳の多言語化及び効果的な支援方法(第2報) 外国人妊婦への支援,日本公衆衛生学会総会抄録集, 79 回:359, 2020/10
- 8) 佐藤拓代,安達久美子,當山紀子,鏈溝和子,山口実花,中村安秀,公益社団法人母子保健推進会議:母子健康手帳の多言語化と外国人妊産婦への支援(第1報) 全国市町村の状況,日本公衆衛生学会総

会抄録集, 79 回:358, 2020/10

- 9) 抜田博子,小川久貴子,竹内道子,安達久美子,金澤貴子,三輪生子,坂田成輝:若年母の肯定感を高める ICT 活用支援プログラムの開発 試行版プログラム作成,第 40 回日本思春期学会学術集会, 39(1):131, 2021/3

競争的資金等の研究課題

- 1) 小川久貴子,安達久美子:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「若年母の肯定感を高める ICT 活用支援プログラムの開発」,2017/4-2021/3
- 2) 安達久美子,菱沼由梨,石川紀子:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「硬膜外麻酔分娩の安全性を確保するための助産師の臨床推論モデルの構築」,2019/4/1-2022/3/31

論文

- 1) 濱谷雅子,島田恵,岡本有子,河原加代子:足病変のケアを目的とした訪問看護師の療養者との関わり,質的心理学研究, 20(20):256-277, 2020/6
- 2) 横山史子,河原加代子:独居の要介護高齢者が在宅療養を継続するために訪問看護師が着目している療養者の情報,日本保健科学学会誌 The Journal of Japan Academy of Health Sciences, 23(3):122-132, 2020/12

講演・口頭発表等

- 1) 前田直宏,河原加代子:日本における訪問看護師が行うセルフマネジメント教育に関する文献検討,第30回日本保健科学学会学術集会,2020/10/11

競争的資金等の研究課題

- 1) 文部科学省科学研究費基盤(C)「災害時の健康危機を支えるヘルス・リスクコミュニケーションのアルゴリズム開発」,2017/4-2021/3

社会貢献活動

- 1) 医学書院:カリキュラム編成準備セミナー 第2回「地域・在宅看護論の位置づけと教育内容」,2020/7/19-2021/3/31
- 2) 第40回日本看護科学学会学術集会:第40回日本看護科学学会学術集会(第42群 在宅看護),2020/12/12-2020/12/13

委員歴

- 1) 東京都リハビリテーション協議会委員(2007-)
- 2) 公益財団法人東京都福祉保健財団:訪問看護管理者・指導者育成研修事業研修運営委員会委員(2014/5-)
- 3) 東京都福祉保健局高齢社会対策部:東京都在宅療養推進会議訪問看護推進部会委員(2014-)

その他

- 1) Development of Nursing Intervention Program for Stroke patients with Dysphagia in Care Setting, 2003-

講演・口頭発表等

- 1) 齊藤恵美子,神崎由紀,表志津子,村田加奈子:地域包括支援センター看護職の倫理的な課題が生じた際の支援についての質的分析,日本公衆衛生看護学会学術集会講演集,9回:215,2021/12/20
- 2) 齊藤恵美子,表志津子,神崎由紀,村田加奈子:在宅高齢者と家族の支援過程での地域包括支援センター看護職の倫理的な行動の検討.日本公衆衛生学会総会抄録集,79回:391,2021/10/20
- 3) 太田正樹,永田容子,齊藤恵美子:処遇困難結核患者の疫学、2013-2014,日本公衆衛生学会総会抄録集,79回:273,2021/10/20

Misc

- 1) 佐伯和子,井倉一政,齊藤恵美子,濱野芳江,的場由木,森田誠子:公衆衛生看護の実践・教育・研究の発展に貢献する専門家認証制度を考えよう:日本公衆衛生看護学会認定専門家認証制度(仮称)案について,日本公衆衛生看護学会学術集会講演集,9回:128,2020/12/25

競争的資金等の研究課題

- 1) 齊藤恵美子(代表):日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C):「在宅高齢者とその家族への支援過程での専門職の倫理的な行動と支援モデル」,2020/4/1-2023/3/31
- 2) 齊藤恵美子(分担):日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C):「糖尿病外来通院患者の重症化予防リスク因子に関する前向きコホート研究」,2021/4/1-2026/3/31

Misc

- 1) 加藤智史,習田明裕:身体接触を用いた会話中の2者間における心拍変動の同期現象と自律神経活動および主観的指標の変化に関する検討,日本看護技術学会誌, 19:63-72, 2020/8
- 2) 西田三十一,志自岐康子,習田明裕:一般病棟において看護師が形成する死にゆく患者との心理的距離,日本看護科学学会学術集会講演集, 40回():026-5, 2020/12/1
- 3) 前田耕助,大庭貴子,加藤智史,習田明裕:足浴の温熱刺激がもたらす前頭前野の脳活動と交感神経活動への影響,日本看護科学学会学術集会講演集, 40回:024-2, 2020/12/1
- 4) 林幸子,習田明裕:未治療の未破裂脳動脈瘤を持つ人の病気の不確かさとその関連要因,日本看護研究学会雑誌, 43(5):823-834, 2020/12/1
- 5) 習田明裕,森田孝子,萩原邦子,添田英津子,眞野恵子,前田靖子,古米照恵,野尻佳代:移植看護教育の実態とニーズに関する研究 移植看護教育のコア・カテゴリー抽出の試み,日本移植・再生医療看護学会誌, 15:27-41, 2020
- 6) 大庭貴子,習田明裕:造血幹細胞移植において看護師が困難感を抱える場面とその影響要因,日本移植・再生医療看護学会誌, 15:14-26, 2020
- 7) 阿部育子,習田明裕:レシピエント移植コーディネーターが遭遇する倫理的場面での苦悩の実態,日本移植学会総会プログラム抄録集, 56th(総会臨時):376, 2020
- 8) 水落彩香,習田明裕:臓器提供の意思表示に関する実態と関連要因の検討,日本クリティカルケア看護学会学術集会抄録集(Web), 16th:, 2020
- 9) 林幸子,習田明裕:未治療の未破裂脳動脈瘤を持つ人の病気の不確かさとその関連要因,日本看護研究学会雑誌(Web), 43(5), 2020
- 10) 加藤智史,習田明裕:身体接触を用いた会話中の2者間における心拍変動の同期現象と自律神経活動および主観的指標の変化に関する検討,日本看護技術学会誌(Web), 19, 2020
- 11) 大庭貴子,習田明裕:造血幹細胞移植を受ける患者の臨終期において看護師が抱える困難感とその影響要因,日本造血細胞移植学会総会プログラム・抄録集, 42nd, 2020
- 12) 大庭貴子,習田明裕:造血幹細胞移植看護における困難感とバーンアウトの関連,日本造血細胞移植学会総会プログラム・抄録集, 43rd, 2021

競争的資金等の研究課題

- 1) 習田明裕,大庭貴子:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「移植看護学教育モデル・コア・カリキュラムの構築」,2020/4/1-2023/3/31
- 2) 習田明裕,大庭貴子:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「臓器移植医療における看護職の倫理的実践モデルの構築」,2017/4/1-2021/3/31

著書

- 1) 前田泰樹・西村ユミ:急性期病院のエスノグラフィー, 協働実践としての看護, 新曜社, 2020/8/31

Misc

- 1) 西村ユミ:看護師が書く世の中がよくなるとは?(宮子あずさ著『看護師が書くこと』医学書院、2020),看護教育, 61(6):0509, 2020/6/25
- 2) 西村ユミ:榊原哲也『医療ケアを問いなおす』日常の“二重”の捉え直しとその方法,現代思想 9月臨時増刊号, 48(11):172-176, 2020/8/20
- 3) 西村ユミ:コロナ禍でフィールドワークする(身体知)になる,看護研究, 53(5):369-373, 2020/8/15
- 4) 小松浩子,井上智子,西村ユミ,岩崎晋也,永瀬伸子,寶金清博,川口孝泰,正木治恵:ケアサイエンスの基盤形成と未来社会の創造,日本学術会議 提言, 2020/9/2
- 5) 片田範子,小松浩子,井上智子,西村ユミ他:「地元創成」の実現に向けた看護学と社会との協働の推進,日本学術会議 提言, 2020/9/2
- 6) 西村ユミ:「フィールドで考え、人びとの理解と自己変成を生み出す研究」『ヘルス・エスノグラフィー—医療人類学の質的研究アプローチ』(道信良子著、医学書院、2020年),看護研究, 54(1):40-41, 2021/2/21
- 7) 西村ユミ:認定 NPO 法人健康と病いの語りのディベックスジャパン編『患者の語りと医療者教育—“映像と言葉”が伝える当事者の経験』(日本看護協会出版会、2019年)(書評),保健医療社会学論集, 31(2):88-89, 2021/3/21
- 8) 西村ユミ:看護師の倫理実践力——語れない語られないものを観じる力,日本看護倫理学会誌, 13(1):80-81, 2021/3/21

講演・口頭発

- 1) 西村ユミ,前田泰樹:急性期病院における入退院支援についてのワークの研究(1)—看護師と中心とする多職種協働実践に注目して,第45回日本保健医療社会学会大会, 2020/9/6
- 2) 前田泰樹,西村ユミ:急性期病院における入退院支援についてのワークの研究(2)—説明外来におけるリスクを可視化する実践に注目して,第45回日本保健医療社会学会大会, 2020/9/6
- 3) 西村ユミ:公開シンポジウム:「質的研究法マッピングの世界を語る—解釈的現象学」,日本質的心理学会第17回大会, 2020/10/24
- 4) 西村ユミ,村上優子:解釈学的現象学の基本と具体的な方法を学ぶ,日本質的心理学会第17回大会, 2020/10/25
- 5) 西村ユミ:「地元創成」の実現に向けた看護学と社会との協働の推進—提言に含まれる調査結果の概要,第40回日本看護科学学会学術集会, 2020/12/13
- 6) 西村ユミ:フィールドワークにおける間身体性:看護実践を探求する方法,共創学会第4回年次大会, 2020/12/6

競争的資金等の研究課題

- 1) 萱間真美,西村ユミ,木下康仁,グレッグ美鈴,三浦友理子,小山田恭子,麻原きよみ,山本則子:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B)「質的研究論文の教育資源提供ネットワーク QUARIN-J」の開発,2019/4/1-2024/3/31
- 2) 西村ユミ:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「急性期病院を中心とした地域との多職種連携に関する質的研究」,2020/4/1-2023/3/31

著書

- 1) 山本美智代:在宅で生活する重症児(者)と家族にとっての災害対策,こどもと家族のケア 15(4),54-60, 2020

講演・口頭発表等

- 1) 山本美智代:きょうだい特有の体験(経験),全国病弱教育研究会主催 オンライン学習会,2020/8/30

競争的資金等の研究課題

- 1) 中川薫, 山本美智代:文部科学省 科学研究費(基盤 C),「障害児者にとっての避難所,福祉避難所問題ー東日本大震災を事例にー」, 2018-2020
- 2) 山本美智代, 中川薫:文部科学省 科学研究費(基盤 C),「重症心身障害者の成人医療移行時の問題および家族の心理的プロセス」, 2019-2022

社会貢献活動

- 1) 6期 東京都重症心身障害プロフェッショナルナース 育成研修ー看護研究,講師 2020/9-2021/11
- 2) 第16回全国病弱教育研究会全国大会(東京大会),実行委員, 2020/12/20

論文

- 1) 坂井志織,福井里美,西村ユミ,小林隆司,池田由美,眞正浄光,飯塚哲子,三浦里織,荒井清美,重光洋亮:急性期医療における臨床実践能力を高める多職種連携演劇ワークショップ型学習支援プログラムの開発過程. 日本保健科学学会, 24(1), 2020/5
- 2) 重光洋亮,福井里美,坂井志織,小林隆司,池田由美,新井清美,眞正浄光,飯塚哲子,三浦里織,西村ユミ:実践経験者をファシリテーターとした急性期医療現場の;職種(NPRO;連携演劇ワークショップ型教育プログラムに参加した学生の経験. 日本保健科学学会, 23(3), 2021/3
- 3) 飯塚哲子:デス・エデュケーションの現在—デスカフェをとおしての地域と人のつながり—. 生と死のルネサンス—わたしの death Education, 273-282, 2021/3

Misc

- 1) 飯塚哲子:デスカフェをとおしての地域と人のつながり. 日本社会教育学会プロジェクト研究「高齢社会と社会教育」第5回研究会報告集, 2020/8

講演・口頭発表等

- 1) 飯塚哲子,木村千里,井上薫,神尾博代:中学校と多分野ヘルスケア専門職が連携する「いのちの教育」体験学習バーチャルリアリティ認知症体験を導入した中学校生徒への協働実践,2020.10 第13回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会,2020/10/10
- 2) 飯塚哲子:「地域連携・多職種連携事業「生命学—いのちを考える—」体験学習プログラム」,第67回日本社会教育学会研究大会,2020/9/18
- 3) 飯塚哲子:デスカフェをとおしての地域と人のつながり,日本社会教育学会プロジェクト研究「高齢社会と社会教育」第5回研究大会,2020/8/8

競争的資金等の研究課題

- 1) 飯塚哲子:東京都都立大学 傾斜的研究費「バーチャルリアリティ認知症体験を導入した『いのちの教育』体験学習とキャリア形成」, 2020-.

社会貢献活動

- 1) 東京都荒川区内中学校体験授業講師,2014/4/1-
- 2) 東京都教育委員会主催事業デス・エデュケーション講師,2015/4/1-
- 3) 早稲田大学エクステンション協力事業公開講座講師,2015/4/1-

委員歴

- 1) 「月刊社会教育」副編集長(2018/4/1-)
- 2) 日本社会教育学会「高齢社会と社会教育」プロジェクト研究員(2019/4-2022/3)
- 3) 早稲田大学エクステンションセンター デス・エデュケーション研究会 代表幹事(2001/4/1-)

4) 社会教育推進全国協議会 社会教育研究全国集会運営委委員・「地域福祉分科会」代表(2020/4/1-)

Misc

- 1) 森山ますみ,荒木田美香子,石川陽子,亀井縁,五味麻美,謝海棠,水谷真由美,吉野八重,持田恵理,
二田水彩:日本で暮らす外国にルーツを持つ子ども・子育て支援サービスの開設. 日本公衆衛生看護学会学術
集会講演集, 9回:245-245, 2020/12.
- 2) 二田水彩,森山ますみ,荒木田美香子,石川陽子,亀井縁,五味麻美,謝海棠,水谷真由美,吉野八重,
持田恵理:乳幼児期の子どもを持つ外国人母の妊娠・出産・子育てに関する情報探索行動についての実態
調査. 日本公衆衛生看護学会学術集会講演集, 9回:245-245, 2020/12.

競争的資金等の研究課題

- 1) 石川陽子,野村亜由美,成瀬和子:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「異文化看護能
力の開発に向けた基礎的研究」, principal_investigator,2016/4/1-2021/3/31.
- 2) 成瀬和子,石川陽子,須藤恭子:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「Relationships among
intention to leave, nurse migration, and career development in ASEAN nurses」, ,2017/4/1-2022/3/31.
- 3) 森山ますみ,アリフ・ウル ハサン,水谷真由美,石川勝彦,BABAYEV TAMERLAN,石川陽子,謝海棠,
荒木田美香子,五味麻美,LE TRAN・NGOAN,吉野八重,亀井縁,カティワダ ザヌカ,二田水彩,NWE・NWE OO,
因京子,小川正子:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B)「外国人の出身国および我が国の
ECD事情のデータベース作成」, ,2017/4/1-2022/3/31.
- 4) 石川陽子,成瀬和子,神村初美:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「看護師の国際移
動:下方移動の現状と課題」, ,2020/4/1-2024/3/31.

競争的資金等の研究課題

- 1) 岡本有子:文部科学省 科学研究費 基盤研究(B)「がん末期患者と家族への専門看護師主導型地域包括ケアプログラムの臨床的有用性の検証」,2018/4-2021/3
- 2) 岡本有子,福井小紀子,藤田淳子,明智龍男,村上義孝:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B)「がん末期患者と家族への専門看護師主導型地域包括ケアプログラムの臨床的有用性の検証」,2018/4-2021/3

講演・口頭発表等

- 1) 木村千里, 室田信一, 伊藤祐子, 園部真美, 増谷順子, 大嶋信雄: パンデミック下の子どもと家族の支援 -コミュニティにおける保健医療福祉連携による支援に関する文献検討-, 第13回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会, 2020/10.
- 2) 増谷順子, 木村千里: 育児と介護のダブルケアの実態と多職種の支援に関する文献検討, 第13回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会, 2020/10.
- 3) 伊藤祐子, 浦野飛鳥, 木村千里: 支援ニーズの高いコミュニティの親子への協働的アプローチに関する実践報告, 第13回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会, 2020/10.
- 4) 園部真美, 木村千里: 自治体子どもひろばと大学との連携 ～プレママ子育て講座「赤ちゃんとの触れ合い」～, 第13回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会, 2020/10.
- 5) 飯塚哲子, 木村千里, 井上 薫, 神尾博代: 中学校と多分野ヘルスケア専門職が連携する「いのちの教育」体験学習に Virtual Reality 認知症体験を導入した中学校生徒への協働実践, 第13回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会, 2020/10.

競争的資金等の研究課題

- 1) 園部真美 他(研究分担者): 文部科学省 科学研究費補助金 基盤研究(B)「親子の相互作用を重視した観察法に基づく虐待予防・育児支援システムの開発研究」, 2020/4(継続中).
- 2) 木村千里(研究代表者), 室田信一, 伊藤 祐子他: 東京都立大学 傾斜的研究費部局分・部局競争的経費「パンデミック下の子どもと家族の支援: コミュニティにおける保健医療福祉連携」, 2020/4-2021/3.

社会貢献活動

- 1) 東京都立大塚病院 院内研修 ジェネラルコース 看護研究, 2020/4- 2021/3.
- 2) Sage Open Nursing, Peer review, 2020/12.
- 3) 中高生ホットステーション: 子どもの居場所 スペシャルニーズをもつ子どもたちへのアウトリーチボランティア 支援者研修, 2020/11- 2021/2.
- 4) あらかわ子ども応援ネットワーク: 子どもの居場所(次世代育成 相談支援) 大学生ボランティア支援, 2020/4- 2021/3.
- 5) 特定非営利活動法人 女性ネットSaya-Saya ホームスタートあらかわ: 家庭訪問子育て支援 ホームビジター養成講座 支援者研修, 2020/11.
- 6) 荒川区: 荒川区子育て交流サロン 職員研修, 2020/5.
- 7) 荒川区 子育て交流サロン, ilona おやこの縁側 育児相談, 2020/4- 2021/3.
- 8) 荒川区 35(産後)サポネット in 荒川 大学生ボランティア支援, 2020/4- 2021/3.
- 9) 東京都立大学看護学科 暮らしの保健室, 2020/4- 2021/3.

委員歴

- 1) International Journal of Nursing and Clinical practices Editorial Board(2016/3- 2021.3.)
- 2) 荒川区こども・子育て会議 有識者委員(2020/4- 2021/3.)

その他

- 1) 国立大学法人 千葉大学大学院 看護学研究科附属専門職連携教育研究センター(IPERC):令和 2 年度 IPW ベーシック研修・IPW マネジメント研修(理論編)修了.
- 2) 国立大学法人 千葉大学大学院 看護学研究科附属専門職連携教育研究センター(IPERC):令和 2 年度 IPW ベーシック研修・IPW マネジメント研修(実践編)修了.

競争的資金等の研究課題

- 1) 池田和子:厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金「HIV 感染症の医療体制の整備に関する研究 分担研究「HIV 医療包括ケア体制の整備に関する研究～コーディネーターナースの立場から～」」,2011-
- 2) 島田恵:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究 C)「HIV/AIDS 外来看護の再構築とその有効性の検討」,2017/4-2022/3
- 3) 大金美和:厚生労働省 「非加熱血液凝固因子製剤による HIV 感染血友病等患者の長期療養体制の構築に関する患者参加型研究 分担研究「HIV 感染血友病等患者の医療福祉と精神的ケアにおける課題と連携に関する研究:コーディネーションと課題解決の提言」」,2017-
- 4) 石原美和:厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金「非加熱血液凝固因子製剤による HIV 感染血友病等患者の長期療養体制の構築に関する患者参加型研究 分担研究「HIV/AIDS 患者の精神健康と認知された問題の変遷-25年の縦断的事例研究-」」,2018-2020

社会貢献活動

- 1) 慢性疾患セルフマネジメント協会:慢性疾患セルフマネジメントワークショップ,2011-
- 2) 東京都福祉保健局:訪問看護管理者・指導者育成事業,2013-
- 3) 東京都看護協会:東京都エイズピアエデュケーション,2016/4-

委員歴

- 1) 日本エイズ学会 学会認定制度審議会副委員長(2013/4-)

講演・口頭発表等

- 1) 園部真美,木村千里:自治体子どもひろばと大学との連携～ブレママ子育て講座「赤ちゃんとの触れ合い」,第13回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会,2020/10/3
- 2) 木村千里,室田信一,伊藤祐子,園部真美,増谷順子,大嶋伸雄:パンデミック下の子どもと家族の支援ーコミュニティにおける保健医療福祉連携による支援に関する文献検討ー,第13回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会,2020/10/3
- 3) 柳原信子,園部真美,西村真実子,鷲山拓男:大会企画シンポジウム5 子ども虐待の未然防止をめざして～妊娠期からのきれ目のない支援と親が安心できる関係づくり～,日本子ども虐待防止学会 第26回学術集会 いしかわ金沢大会,2020/11/28

競争的資金等の研究課題

- 1) 園部真美,齊藤早香枝,木村千里,澤田優美,鈴木香代子,臼井雅美,草薙美穂,三國久美,大森貴秀,三上謙一]:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B)「親子の相互作用を重視した観察法に基づく虐待予防・育児支援システムの開発研究」,2020/4/1-2024/3/31
- 2) 木村千里,伊藤祐子,武用百子,園部真美,室田真一:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「小・中学生の不登校に対する大学生・大学院生によるアウトリーチ・プログラムの開発」,2021/4/1-2024/3/31
- 3) 臼井雅美,田久保由美子,園部真美,伊藤茂理,林華子:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「家族システムケアアプローチを用いた周産期家族支援プログラムの開発研究Ⅱ」,2019/4/1-2023/3/31

社会貢献活動

- 1) 都立病院「看護研究」講師,2020/4-2021/3
- 2) 荒川区子育て交流サロン育児講座「カンガルー講座」講師”いやいや期への対応” ,2021/2/3-
- 3) 乳幼児看護研究所協賛スタッフメンバー
- 4) 日本周産期精神保健研究会理事

競争的資金等の研究課題

- 1) 種吉啓子:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「保育所に通園する子どもの「登園渋り」に関する研究」,2018-2021
- 2) 佐藤幸子,今田志保,遠藤芳子,塩飽仁,種吉啓子:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「高度実践に基づく「子供の意志決定能力」の構造分析と評価方法の開発」,2020/4-2023/3

社会貢献活動

- 1) 日本保健科学学会誌査読者,2007-
- 2) 本小児看護学会:日本小児看護学会誌専任査読者,2011/7-
- 3) 日本質的心理学会誌査読者,2018-2021/3/31
- 4) 日本看護科学学会誌査読者,2019-

その他

- 1) 小児看護専門看護師, 2020/11

論文

- 1) 水尾智佐子, 安達久美子, 久保幸代, 菱沼由梨:硬膜外麻酔分娩における助産ケアに関する質的研究,母性衛生, 61(4):498-507, 2021/1

著書

- 1) アドバンス助産師育成のための教育プログラム, 第Ⅲ章 B 教育技法 2 研修(pp45-49), 3 グループワーク(p50); 第Ⅳ章 C 専門的自律能力育成のための教育プログラム 2 自己開発に関する助産実践能力向上のための教育計画(pp128-131), 3 教授学習活動に関する助産実践能力向上のための教育計画(pp136-140), 医学書院, 2021/2

講演・口頭発表等

- 1) 高井杏子, 菱沼由梨:父親役割の獲得に影響する要因父親役割の獲得に影響する要因, 第30回 日本保健科学学会学術集会, 2020/10/11
- 2) 小笠原風花, 菱沼由梨:妊婦のセルフケア行動の動機づけの関連因子についての文献検討妊婦のセルフケア行動の動機づけの関連因子についての文献検討, 第30回 日本保健科学学会学術集会, 2020/10/11
- 3) 安部有紀, 菱沼由梨:妊娠期における体重増加に影響を及ぼす要因と保健指導妊娠期における体重増加に影響を及ぼす要因と保健指導, 第30回 日本保健科学学会学術集会, 2020/10/11
- 4) 早田紗彩, 菱沼由梨:第2子を迎えた経産婦の妊娠期からの思いとケア第2子を迎えた経産婦の妊娠期からの思いとケア, 第30回 日本保健科学学会学術集会, 2020/10/11
- 5) 安達久美子, 菱沼由梨, 石川紀子:看護・助産学分野における無痛分娩に関する国内研究の動向, 第35回 日本助産学会学術集会, 2021/3

競争的資金等の研究課題

- 1) 菱沼由梨:文部科学省 科学研究費補助金(若手研究(A))「若手指導者のための臨床指導ガイドの開発 - 助産における臨床教育の基盤づくり」, 2016/4-2021/3
- 2) 安達久美子:文部科学省 科学研究費(基盤(C))「硬膜外麻酔分娩の安全性を確保するための助産師の臨床推論モデルの構築」, 2019/4-2022/3

委員歴

- 1) 日本助産学会 査読委員(2011/4-)

講演・口頭発表等

- 1) 久村和穂,木村美代,福井里美,棟居徳子,葛西傑,松島英介,安本和生,元雄良治:一人暮らしの中高年進行がん患者が抱える心理社会的苦痛と有効な支援に関する質的研究,緩和・支持・心のケア合同学術大会2020(第33回サイコオンコロジー学会総会;第25回日本緩和医療学会学術大会;第5回日本がんサポートケア学会学術集会),2020/8/9
- 2) 佐藤優実花,福井里美:看護師の声の高低が高齢者に与える印象・影響の違い,第29回日本保健科学学会学術集会,2020/10/11
- 3) 松崎里桜,福井里美:経験豊富な看護師が捉える終末期がん患者の『その人らしさ』を反映できた看護実践,第29回日本保健科学学会学術集会,2020/10/11
- 4) 坂井志織,細野知子,小林道太郎,榊原哲也,福井里美,菊池麻由美:地域住民参加型の慢性の病いを語る「生き生きカフェ」プログラムの開発実施と有効性の評価,第40回日本看護科学学会,2020/12/12
- 5) 米村法子,吉田久美子,福井里美:がん化学療法中の患者への訪問看護に関する文献検討,第35回日本がん看護学会学術集会,2021/2/27
- 6) 福井里美,坂井志織,三浦里織,星野晴美,西口旬子,久村和穂,石橋 裕,新井敏子,近藤明美:がん就労支援に向けた化学療法によるしびれによる働きづらさの表現,第9回日本がん相談研究会年次大会,2021/3/13

競争的資金等の研究課題

- 1) 福井里美:学術研究助成基金助成金 基盤研究費(C)「がん化学療法サバイバーが就労する『働きづらさ』の支障程度を示す枠組の開発」,2017/4-2022/3
- 2) 久村和穂,福井里美,棟居徳子,元雄良治:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「独居等で療養生活を支える家族のいない中高年がん患者の心理社会的支援に関する研究」,2018/4/1-2022/3/31
- 3) 大島智恵,福井里美:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「血縁者間造血細胞移植ドナーの心理的経験」,2020/4/1-2025/3/31

社会貢献活動

- 1) NPO がんサポートコミュニティ, グループファシリテーター,2001-
- 2) NPO 山梨がんフォーラム, 理事, 2008-
- 3) 一般社団法人日本がん相談研究会, 理事, 2015-
- 4) 日本保健科学学会学会誌編集委員,2016/9-
- 5) 日本カウンセリング学会編集委員、査読委員,2017/4-
- 6) 日本赤十字看護学会誌 編集委員,2019/4-
- 7) 東京都立がん・感染症センター都立駒込病院 看護部:看護研究研修コース,2010-
- 8) 東京都立墨東病院 新人指導者研修会, 2016-
- 9) 公社多摩南部地域病院 看護部:看護研究研修コース,2019/4-
- 10) 日本サイコオンコロジー学会厚生労働省委託事業「がん総合相談に携わる者に対する研修事業」が
んサポートグループ企画・運営者のための研修会,2020/4-

Misc

- 1) 増谷順子: 中等度認知症高齢者への園芸活動の支援～個別性に応じた支援のポイント. 臨床老年看護, 27 (5):19-26, 2020/1

講演・口頭発表等

- 1) 増谷順子, 真志田祐子, 太田喜久子: 園芸活動を通じた地域住民のための認知症の知識の普及啓発に向けた取り組み. 第 21 回日本認知症ケア学会大会 2020 年 5 月 31 日
- 2) 増谷順子: 育児と介護のダブルケアの実態と多職種の支援に関する文献検討. 第 13 回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会 2020 年 10 月 10 日

競争的資金等の研究課題

- 1) 増谷順子: 日本学術振興会, 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「仕事をしながらダブルケア(育児と介護)を行う女性への支援プログラムの開発・評価」, principal_investigator, 2020/4-2024/3

社会貢献活動

- 1) 慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員.[organizing_member], 2014/4/1-
- 2) 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科非常勤講師.[lecturer], 2015/4/1-
- 3) 平成 31 年度荒川ころばん体操リーダー養成講座.[lecturer], 認知症について知ろう・学ぼう, 2018/7/1-
- 4) 東京都立大学 2020 年度 オープンユニバーシティ: 超高齢社会における認知症予防・健康増進のための園芸活動のすすめ.[lecturer], 2020/6/5-2021/2/16

委員歴

- 1) International Journal of Nursing & Clinical Practices 編集委員(2014/8/1-)
- 2) Journal of Comprehensive Nursing Research and Care 編集委員(2017/1/1-)
- 3) 日本保健科学学会誌編集委員(2019/4/1-)
- 4) 第 30 回日本保健科学学会学術集会実行委員(2020/10/1-)

Misc

- 1) 三浦里織: 症例を通して学ぶサポーターケア 体重減少 症例を通して学ぶサポーターケア体重減少 体重減少を患者の生活や社会的背景、精神的なケアから考える, 15:S157, 2020/8

講演・口頭発表等

- 1) 三浦里織, 今泉郷子: がん化学療法看護認定看護師研修生の自己の看護実践パターン認識の支援～ニューマン理論に基づく“仲間同士の対話”という教育実践の試み～, ニューマン理論・研究・実践研究会第13回対話集会, 2019/10/20
- 2) 三浦里織: 体重減少を患者の生活や社会的背景、精神的なケアから考える, 緩和・支持・心のケア 合同学術大会 2020, 2020/8/9
- 3) 福井里美, 坂井志織, 三浦里織, 石橋裕, 久村和穂, 西口句子, 星野晴美, 新井敏子, 近藤明美: がん就労支援に向けた 化学療法に伴うびれによる働きづらさの表現, 第9回日本がん相談研究会大会, 2021/3/14

委員歴

- 1) 特定非営利活動法人(NPO) ニューマン理論・研究・実践研究会 理事(2015/4-)
- 2) がん医療研修機構 理事(2015/11-)

講演・口頭発表等

- 1) 土屋千夏, 巖千晶: ダウン症候群の児を出生した母親の受容課程と助産師に求められる関り, 日本保健科学学会誌, 2020/10/11
- 2) 一色梨緒, 巖千晶: 出産満足度に影響を与える要因とケア, 日本保健科学学会誌, 2020/10/11
- 3) 古賀愛永, 巖千晶: 妊娠期における体重増加に影響を及ぼす食生活の要因と保健指導, 日本保健科学学会誌, 2020/10/11
- 4) 吉見萌々, 巖千晶: 母体搬送を経験した妊産婦の出産体験における認知過程の文献検討ーフィングの危機モデルに照らして, 日本保健科学学会誌, 2020/10/11
- 5) 巖千晶, 菱沼由梨, 安達久美子: with コロナにおける分娩介助実習の実現に向けた学内実習の取り組みと実際, 日本助産学会誌, 2021/3/21
- 6) 菱沼由梨, 巖千晶, 安達久美子: with コロナにおける分娩介助実習の実際ー感染拡大を防止するための取り組みー, 日本助産学会誌, 2021/3/21

社会貢献活動

- 1) 産後サポネット in 荒川, 2018/4/1-

委員歴

- 1) 全国助産師教育協議会 選挙管理委員(2018/9-2020/9)
- 2) 全国助産師教育協議会 組織委員(2019/8-)
- 3) 日本助産学会 助産ガイドライン解説版ワーキンググループ(2021/3-2023/2)

論文

- 1) 海老名泉紀:子どもの急変に先立つ過程における看護師の経験,日本看護科学会誌, 40:340-348, 2020

論文

- 2) 大庭貴子,習田明裕:造血幹細胞移植において看護師が困難感を抱える場面とその影響要因,日本移植・再生医療看護学会誌, 15:14-26, 2020

Misc

- 4) 前田耕助,大庭貴子,加藤智史,習田明裕:足浴の温熱刺激がもたらす前頭前野の脳活動と交感神経活動への影響,日本看護科学学会学術集会講演集, 40回, 2020/12
- 5) 大庭貴子,習田明裕:造血幹細胞移植看護における困難感とバーンアウトの関連,日本造血細胞移植学会総会, 43回,2021/3

競争的資金等の研究課題

- 3) 習田明裕,大庭貴子:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「臓器移植医療における看護職の倫理的実践モデルの構築」,2017/4/1-2021/3/31
- 4) 大庭貴子:日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究「造血幹細胞移植受療患者の臨終期における看護実践モデルの検討」,2019/4/1-2022/3/31
- 5) 習田明裕,大庭貴子:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「移植看護学教育モデル・コア・カリキュラムの構築」,2020/4/1-2023/3/31

論文

- 1) 清水咲月,奥村朱美,佐々木明子,深堀浩樹:A 大学における海外研修が看護学生の卒業後のキャリアに及ぼす影響,お茶の水看護学雑誌, Satsuki Shimizu,Akemi Okumura,Hiroshige,Akiko Sasaki,Hiroki Fukahori:Influence of overseas training programs for undergraduate nursing students toward their career after graduation in a university, Influence of overseas training programs for undergraduate nursing students toward their career after graduation in a university, 15(1/2):35-42, 2021/3/1.

Misc

- 1) 奥村朱美,友滝愛:看護研究で念頭に置いておきたい報告ガイドライン 30.TREND[Improving the reporting quality of nonrandomized evaluations of behavioral and public health interventions: the TREND statement]-行動的介入および公衆衛生的介入を評価した非ランダム化研究の質の改善:TREND 声明,看護研究, 53(2):104-105, 2020/4/1.

競争的資金等の研究課題

- 1) 奥村朱美:日本学術振興会 科学研究費助成事業 研究活動スタート支援,「認知症高齢者の緩和ケアアセスメント尺度日本語版の開発と信頼性・妥当性の検証」, 2020/9/11-2022/3/31.

競争的資金等の研究課題

- 1) 川添美花:日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究「家族システム論からみた精神障害を持つ人のきょうだいである経験の実態と支援の検討」,2019/4/1-2023/3/31

社会貢献活動

- 1) 福島県外避難者心のケア訪問事業,2019-

論文

- 1) 小野里佳菜,前田耕助:覚醒作用のあるアロマオイル使用後の自律神経活動と気分の変化. 日本保健科学学会, 23(1):5-13, 2020/6
- 2) 前田耕助,柏木聖代,大河原知嘉子:足浴の脳活動に及ぼす効果とその効果を評価する生理学的指標, 日本看護評価学会, 10(1):13-22, 2020/7

講演・口頭発表等

- 1) 前田耕助,大庭貴子,加藤智史,習田明裕:足浴の温熱刺激がもたらす前頭前野の脳活動と交感神経活動への影響,日本看護科学学会,2020/12

競争的資金等の研究課題

- 1) 三輪聖恵,習田明裕,野村亜由美,前田耕助,大庭貴子:東京都立大学 2020 年度傾斜的研究費(部局分・部局競争的経費)「看護技術提供に必要な能力の向上を目指すアクティブラーニング導入の効果」,2020/6-2021/3

社会貢献活動

- 1) 第 27 回日本保健科学学会,2017/9/30-

講演・口頭発表等

- 1) 村上優子:外傷により脊髄を損傷した人の経験-受傷後約 10 年を経た語りの現象学的研究-. 第 46 回日本保健医療社会学会大会,2020/9/5

競争的資金等の研究課題

- 1) 村上優子,菊池ひとみ,細野知子,伊田裕美:東京都立大学 2020 年度傾斜的研究費,若手奨励「1970 年代後半に現象学の思想を基盤に活動した看護研究者たちの経験に関する研究」,2020/6/1-2021/3/1

委員歴

- 1) 臨床実践の現象学会 事務局(2013/4/1-)

理 学 療 法 学 科

理学療法学科

学科長

山田 拓実

論文

- 1) Kato M, Kobayashi M, Ishida K, Inagaki Y, Shogenji M, Asakawa Y, Uemura S, Kitaoka K, H.T.T. Pham: Heatstroke prevention with multi-device terminals via sensing of older adults living alone.. Wellness and Health Care, 44(1):91-95, 2020/9

著書

- 1) 15 レクチャーシリーズ理学療法テキスト「地域理学療法学」(責任編集:鈴木英樹, 総編集:石川 朗), LECTURE10 理学療法的支援(5)社会参加, 中山書店, 2020/7
- 2) 理学療法原論(日本理学療法士協会理学療法概論作成委員会), 第2章公衆衛生の背景と理学療法第2節公衆衛生(学)と理学療法, 東京プレス, 2021/2

講演・口頭発表等

- 1) 石塚大悟, 石塚大悟, 峯崎洋, 浅川康吉, 太田剛: 腰椎手術は生活範囲を拡大できるのか?-術後1か月に焦点をあてて-, 2020/8/21
- 2) 齊藤秀之, 浅川康吉, 新田收, 酒井桂太: 2025年に向けた理学療法の展望～生涯学習のkey performance indicator～, 日本地域・支援工学・教育合同理学療法学会学術大会 2020, 2020/11/8
- 3) 石塚大悟, 峯崎洋, 浅川康吉: 腰椎術前生活において外出制限を生じた高齢者の特徴. 第7回日本地域理学療法学会学術大会, 2020/11/8
- 4) 清水智子, 金井千秋, 横倉聡, 浅川康吉: 回復期リハビリテーション病棟入院中の高齢整形外科疾患患者の身体活動量の変化, 第7回日本地域理学療法学会学術大会, 2020/11/8
- 5) 松井由香, 木嶋千枝, 木嶋千枝, 篠崎有陸, 浅川康吉, 田中志子: 回復期リハビリテーション病棟入院患者の転倒と足皮膚トラブルの関係性, 日本慢性期医療学会(Web), 2020/12/2
- 6) 角田沙耶花, 伊東七奈子, 篠崎有陸, 浅川康吉, 田中志子: 認知症を伴う高齢者に対するCSTを中心とした膀胱留置カテーテル抜去の効果, 日本慢性期医療学会(Web), 2020/12/2
- 7) 田中智寛, 星さゆり, 横坂絹代, 篠崎有陸, 浅川康吉, 横坂由利子, 田中志子: 座薬使用量減少を目指した排便コントロール～お茶や乳製品を使用した自然排便を目指して～, 日本慢性期医療学会(Web), 2020/12/2
- 8) 小林紀子, 横坂絹代, 篠崎有陸, 浅川康吉, 横坂由利子, 田中志子: 特別養護老人ホームにおける口腔ケアの質の変化と肺炎予防の関係について, 日本慢性期医療学会(Web), 2020/12/2
- 9) 篠崎有陸, 貝瀬充, 浅川康吉, 田中志子: 回復期リハ病棟における認知症を伴う患者の入退院時の体重変化の関連因子. 日本慢性期医療学会(Web), 2020/12/2
- 10) 篠崎有陸, 浅川康吉, 田中志子: 発症場所の影響を加味した認知症を伴う患者の退院先・入院日数・FIM 利得の特性, 日本慢性期医療学会(Web), 2020/12/2
- 11) 清水智子, 金井千秋, 横倉聡, 浅川康吉: 高齢整形外科疾患患者の回復期リハビリ病棟入院中の摂取エネルギー、身体機能および身体活動量の変化の関係。リハビリテーション栄養, 日本リハビリテーション栄養学会, 2020/12/12

競争的資金等の研究課題

- 1) 浅川康吉, 小林隆司: 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「居宅内歩行速度モニタリングによる歩行機能低下予測モデルの開発」, 2020/4/1-2024/3/31

特許

- 1) 石田和生,岩田真琴,加藤真由美,北岡和代,正源寺美穂,浅川康吉:特許第 6740529 号,特願 2018-509416, 2017/3/30 「健康状態推定システム、健康状態推定装置、健康状態推定方法、およびプログラム」

論文

- 1) 志田航平,網本和, 藤野雄次,深田和浩,井上真秀,高橋秀寿,牧田茂:電極貼付条件が直流前庭刺激法施行中および施行後の脳血流量に与える影響 fNIRS 研究,理学療法科学 35 巻,2 号, 267-272,2020.04
- 2) Fukata K, Amimoto K, Fujino Y, Inoue M, Inoue M, Takahashi Y, Sekine D, Makita S, Takahashi H. Starting position effects in the measurement of the postural vertical for pusher behavior, Exp Brain Res,2020.10,238(10):2199-2206,doi:10.1007/s00221-020-05882-z,Epub 2020. 7.18,PMID: 32683513
- 3) 尾崎新平,網本和,田邊淳平,吉弘奈央,宮崎泰広,恵飛須俊彦:半側空間無視と Pusher 現象の合併症例に対する直流前庭電気刺激の効果,物理療法科学 27 巻,69-72,2020.8
- 4) Meidian AC, Wahyuddin, Amimoto K. Rehabilitation interventions of unilateral spatial neglect based on the functional outcome measure: A systematic review and meta-analysis,Neuropsychol Rehabil,2020.10.26,1-30,doi:10.1080/09602011.2020.1831554,Online ahead of print,PMID:33106080
- 5) Sakai K, Goto K, Watanabe R, Tanabe J, Amimoto K, Kumai K, Shibata K, Morikawa K, Ikeda Y. Immediate effects of visual-motor illusion on resting-state functional connectivity. Brain Cogn. 2020.12,146:105632, doi:10.1016/j.bandc.2020.105632. Epub 2020.10.28,PMID: 33129054
- 6) Fukata K, Fujino Y, Inoue M, Inoue M, Sekine D, Tsutsumi M, Okihara T, Mano M, Miki H, Sato H, Kobayashi Y, Hasegawa K, Kunieda Y, Ishihara S, Makita S, Takahashi H, Amimoto K: Factors Influencing Sitting Ability During the Acute Post-Stroke Phase: A Multicenter Prospective Cohort Study in Japan,J Stroke Cerebrovasc Dis.2021.1,30(1):105449,doi: 10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2020.105449, Epub, 2020.11.6,PMID: 33166768
- 7) Fukata K, Amimoto K, Inoue M, Shida K, Kurosawa S, Inoue M, Fujino Y, Makita S, Takahashi H :Effects of performing a lateral-reaching exercise while seated on a tilted surface for severe post-stroke pusher behavior: A case series. Top Stroke Rehabil,2020.12.20:1-8,doi: 10.1080/10749357.2020.1861718. Online ahead of print.PMID: 33345722

Misc

- 1) 沼尾拓,網本和:Pusher 現象の評価方法,理学療法ジャーナル 54 巻 6 号,644-653,2020.06
- 2) 藤野雄次,網本和,深田和浩,松田雅弘,藤原俊之:Pusher 現象の生起メカニズム,理学療法ジャーナル 54 巻 6 号,639-643,2020.06
- 3) 網本和:Pusher 研究小史 35 年間の軌跡,理学療法ジャーナル 54 巻 6 号,626-631,2020.06
- 4) 網本和,内田賢,内山靖,大城昌平,金谷さとみ,酒井桂太,福井勉,山田英司,横田一彦:新型コロナウイルス各現場から,with コロナ時代の理学療法を展望する COVID-19 下の理学療法教育の現状と展望,理学療法ジャーナル 54 巻 7 号,812-817,2020.07

講演・口頭発表等

- 1) Katsuya Sakai,Yumi Ikeda,Keisuke Goto,Junpei Tanabe,Kazu Amimoto,Kumai Kent;Effect of visual-motor illusion on functional brain connectivity during motor imagery. ISEK2020, Proceedings, p45, MC2-1
- 2) Abdul Chalik Meidian,Song Yige,Kazu Amimoto: The influence of using the head-mounted display with modified web camera as left unilateral spatial neglect model on static and dynamic standing balance in the healthy subjects; ISEK2020, Proceedings, p66, R2-3

- 3) Junpei Tanabe,Kazu Amimoto,Katsuya Sakai,Tetsuya Nagahata,Yusuke Hashimoto,Masaki Takeshima,Tokuei Kataoka; Effects of kinesthetic illusion induced by visual stimulation on the ankle joint for sit-to-stand in a hemiplegic stroke patient: AB single-case design. ISEK2020, Proceedings, p67, R2-4
- 4) Abdul Chalik Meidian,Kazu Amimoto; The immediate effect of mirror visual feedback training on standing balance of left unilateral spatial neglect model. 18th Congress of Japanese Society of Neurological Physiotherapy, Proceedings p88, EW-1, 2020.
- 5) Junpei Tanabe,Kazu Amimoto,Katsuya Sakai,Shinpei Osaki,Tetsuya Nagahata,Yusuke Hashimoto,Shioko Hayashi,Nao Yoshihiro; The immediate effect of Kinesthetic illusion induced by visual stimulation(KiNvis)with “power image” on ankle dorsiflexion disorders in stroke hemiplegic patients. 18th Congress of Japanese Society of Neurological Physiotherapy, Proceedings p88, EW-2, 2020.
- 6) Shinpei Osaki,Kazu Amimoto,Yasuhiro Miyazaki,Junpei Tanabe,Nao Yoshihiro,Toshihiko Ebisu;Reaction time task(Modified Posner Task)reveals the characteristics of covert neglect sign: Two cases with unilateral spatial neglect. 18th Congress of Japanese Society of Neurological Physiotherapy, Proceedings p89, EW-3, 2020.
- 7) Kazushige Iwakawa,Kazu Amimoto,Eriko Fukuda;Effects of moving virtual reality world on the standing balance in chronic stroke patients. 18th Congress of Japanese Society of Neurological Physiotherapy, Proceedings p89, EW-4, 2020.
- 8) Kazuya Motomura,Kazu Amimoto ;Development of a new evaluation of stimulus-driven attention for unilateral spatial neglect. 18th Congress of Japanese Society of Neurological Physiotherapy, Proceedings p90, EW-5, 2020.
- 9) Yige Song,Kazu Amimoto;The effect of Stroop task during sit-to-stand on the postural control in the healthy subjects. 18th Congress of Japanese Society of Neurological Physiotherapy, Proceedings p91, EW-7, 2020.
- 10) Kota Sawa,Kazu Amimoto,Keisuke Ishigami,Rikuya Suzuki,Chika Setoyama,Takuya Miyamoto,Haruka Makino,Nozomi Kuwabara,Miko Tamura,Hiroyuki Fukuoka,Tatsuya Suenaga,Mitsusuke Miyagami;Characteristics of verticality and prognosis of stroke with pusher and unilateral spatial neglect in the recovery phase. 18th Congress of Japanese Society of Neurological Physiotherapy, Proceedings p91, EW-8, 2020.
- 11) Masahide Inoue,Kazu Amimoto,Yuya Chiba,Daisuke Sekine,Hiroyuki Iwasaki,Kazuhiro Fukata,Yuji Fujino,Hajime Maruyama,Hidetoshi Takahashi,Shigeru Makita;Determinants and consequences for standing balance of weight-bearing asymmetry in the early phase post-stroke. 18th Congress of Japanese Society of Neurological Physiotherapy, Proceedings p93, EW-11, 2020.
- 12) 尾崎新平,網本和,清水完,宮崎泰広,恵飛須俊彦:半側空間無視の姿勢制御に対するプリズムアダプテーションの影響,*The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine* 57 巻特別号,3-P2K-11-5,2020.07
- 13) 米澤真,網本和:健常者における視覚探索課題と刺激誘発課題の脳活動動態分析 fNIRS を用いての検討,*The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine*57 巻特別号,3-P2K-11-2,2020.07
- 14) 佐藤祐,加藤優一,木倉将成,謝敷時秀,鈴木唱文,網本和:回復期病棟における脳卒中患者の経時的変化,*The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine* 57 巻特別号,2-P2K-23-3,2020.07
- 15) 澤広太,網本和,石神佳祐,宮本琢也,小松史,瀬戸山千佳,桑原希望,鈴木陸也,榎野遥香,田村実子,田中雅人,進藤龍也,福岡宏之,末永達也,美崎定也,宮上光祐:回復期脳血管障害例の入院時垂直認知による退院時日常生活自立度の予後予測,*The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine*57 巻特別号,2-P2K-10-1,2020.07
- 16) 久保田智之,網本和:VR による偏倚空間での視線追跡課題が立位バランスと体幹正中認知に与える影響,*The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine* 57 巻特別号,1-P2K-22-7,2020.07
- 17) 深田和浩,網本和,井上 真秀,関根大輔,井上真美子,藤野雄次,牧田茂,高橋秀寿:発症早期の Pusher 現象例

に対する対角平面上の座位傾斜練習の効果 無作為化比較試験の二次的解析,The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 57 巻特別号,1-P2K-21-2,2020.07

- 18) 小田晏澄,網本和:足関節背屈の視覚誘導性自己運動錯覚と電気刺激が脳活動動態に及ぼす影響 An fNIRS study,The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 57 巻特別号,1-P2K-18-4,2020.07
- 19) 阪口里緒,網本和:遅延フィードバックを用いた座位バランストレーニングにおける脳活動の分析 fNIRS study,The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 57 巻特別号,1-9K-3-2,2020.07
- 20) 國場開, 網本和, 植原真由,万治淳史:脳卒中後片麻痺に対する四極性前庭刺激が与える身体正中認知への即時効果,The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 57 巻特別号,1-9K-2-3,2020.07

論文

- 1) Zhang MS, Dai YD, Sasaki H, Terayama H, Ren K, Wang ZD, Chen JF, Yamamoto Y, Yi SQ: High Fat Diet Load Study in Natural Obesity-Resistant Animal Model, *Suncus murinus*, J Veterina Sci Res, 2:19-29, 2020/6
- 2) Wang ZD, Liu C, Hu X, Que WT, Ito H, Takahashi K, Nakajima M, Tanaka T, Ren K, Guo WZ, Yi SQ, Li XK: 5-Aminolevulinic acid combined with sodium ferrous ameliorated liver injury in a murine acute graft-versus-host disease model by reducing inflammation responses through PGC-1 α activation, *Drug Discoveries & Therapeutics*, 14(6):304-312, 2020/6
- 3) Nagakawa Y, Yi SQ, Takishita C, Sahara Y, Osakabe H, Kiya Y, Yamaguchi H, Miwa Y, Sato I, Tsuchida A: Precise anatomical resection based on structures of nerve and fibrous tissue around the superior mesenteric artery for mesopancreas dissection in pancreaticoduodenectomy for pancreatic cancer, *J Hepatobiliary Pancreat Sci*, 276:342-351, 2020/7
- 4) Wang ZD, Ren K, Dai YD, Chen JF, Zhang MS, Wang HX, Itoh M, Yi SQ: The relationship between pancreatic cell apoptosis induced by Fas/Fas Ligand pathways and pancreatic fibrosis in *aly/aly* mice, *Jpn J Gastroenterol Hepatol*, V4(3):1-5, 2020/7
- 5) Que W, Hu X, Fujino M, Terayama H, Sakabe K, Fukunishi N, Zhu P, Yi SQ, Yamada Y, Zhong L, Li XK: Prolonged cold ischemia time in mouse heart transplantation using supercooling preservation, *Transplantation*, 104(9):1879-1889, 2020/9
- 6) Yi SQ, Nagakawa Y, Ren K, Dai YD, Zhang MS, Chen JF, Wang ZD, Miwa Y, Liu T, Lu XM: The Mesopancreas and Pancreatic Head Plexus: Morphological, Developmental, and Clinical Perspectives, *Surg Radiol Aant*, 42(12):1501-1508, 2020/12
- 7) Katsuki S, Terayama H, Tanaka R, Qu N, Nomura H, Kawakami S, Umemoto K, Suyama K, Yi SQ, Suzuki T, Sakabe K: Variation of insertion of the pectoralis major in a cadaveric study: a case report, *Medicine*, 2020

著書

- 1) 膵臓の発生と解剖。膵臓病診療ガイドブック, pp2-8, 診断と治療社(株), 2020/4

講演・口頭発表等

- 1) Shuang-Qin Yi, Yoko Miwa, Ke Ren, Yuichi Nagakawa: Clinical Anatomy of the Anterior and Posterior Hepatic Plexuses. Clinical Anatomy of the Anterior and Posterior Hepatic Plexuses, 日本膵臓学会, 2021/1/8
- 2) Shunichi Uetake, Toru Negishi, Ming-Shou Zhang, Shuang-Qin Yi: Study of age-related change in femur left-right differences in rats. Study of age-related change in femur left-right differences in rats, 日本解剖学会総会, 2021/3/29

競争的資金等の研究課題

- 1) 独立法人日本学術振興会 学術研究助成基金助成金「スングスの腸内細菌叢の解析と抗肥満特性についての研究」, 2019/4-2022/3 (代表者: 易勤, 分担者: 佐々木啓, ニン カ)

委員歴

- 1) 日本膵臓学会 膵癌取扱い規約委員会(2015/9-)
- 2) 日本膵切研究会 膵癌膵後方進展検討委員会(2017/4-)
- 3) 日本胆膵病態・生理研究会 世話人会(2018/8-)

論文

- 1) Katsuya Sakai, Tsubasa Kawasaki, Yumi Ikeda, Keita Tominaga, Kohei Kurihara: Relationship between Motor Estimation Error and Physical Function in Patients with Parkinson's Disease. . Medicines (Basel, Switzerland), 7(8), 2020/7/28
- 2) K.Sakai, T.Kawasaki, Y. Ikeda, K.Tominaga, K.Kurihara: Relationship between motor estimation error and physical function in patients with Parkinson's disease. Medicines 7(43), 2020/07
- 3) Katsuya Sakai, Keisuke Goto, Rui Watanabe, Junpei Tanabe, Kazu Amimoto, Ken Kumai, Keiichiro Shibata, Kenji Morikawa, Yumi Ikeda: Immediate effects of visual-motor illusion on resting-state functional connectivity. Brain and cognition, 146: 105632, 2020/12
- 4) 酒井克也, 池田由美, 栗田康平, 熊井健: 要介護認定者の 2 ステップテストを用いた認識誤差と生活空間との関連. 理学療法の科学と研究, 12(1):9-13, 2021/2

Misc

- 1) 池田由美, 酒井克也: VR 技術のリハビリテーションへの応用. 脳神経内科, 93(1):1-5, 2020/7

講演・口頭発表等

- 1) K. Sakai, Y. Ikeda, K. Goto, J. Tanabe, K. Amimoto, K. Kumai: Effect of visual-motor illusion on functional brain connectivity during motor imagery, The International Society of Electrophysiology and Kinesiology XXIII 2020, 2020/7/13
- 2) 酒井克也, 川崎翼, 池田由美, 君成田弘八, 長谷川彰子]: パーキンソン病患者の 2 ステップ距離は身体機能や生活空間と関連する, 第 57 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2020/8/21
- 3) 酒井克也, 池田由美, 栗原康平, 君成田弘八: 2 ステップテストの見積もり誤差が身体機能、生活空間に及ぼす影響 - 多施設共同研究 -, 第 7 回日本予防理学療法学会学術大会, 2020/9/27
- 4) Keiichiro Shibata, Yumi Ikeda: Effects of a mental rotation intervention on sensory discrimination functions and body perception, 11th WORLD CONGRESS FOR NEUROREHABILITATION, 2020/10/9
- 5) 熊井健, 池田由美: 体幹筋活動と補足運動野・一次運動野の脳活動における同調性の評価, 第 25 回日本基礎理学療法学会学術大会, 2020/12

著書

- 1) 理学療法原論 Physiotherapy Principles. Contributor, 第 3 章 理学療法のパラダイムシフト(理学療法の新たな挑戦—予防・健康増進分野における理学療法), 予防・健康増進分野での展開、1, 健康教育分野での理学療法:4, 公益社団法人日本理学療法士協会 Japanese Physical Therapy Association, 2021/2/1

講演・口頭発表等

- 1) 竹蓋結, 古川順光, 藤森花梨, 田島敬之: 自転車エルゴメーターを用いた身体運動が認知機能に及ぼす影響, 第 57 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2020/6/13
- 2) H. Kuruma, T. Toraiwa, S. Sato, H. Sakurai, Y. Kumada, S. Nami, Y. Furukawa: Beneficial effects of harness for farmers, World Physiotherapy Congress 2021, World Physiotherapy, 2021/4/9

競争的資金等の研究課題

- 1) 鈴木明宏, 古川順光, 石井賢治: 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「ウェアラブルデバイスを用いた身体活動量評価のための酸素摂取動態に基づく代謝推定法」, 2017/4/1-2021/3/31

委員歴

- 1) 公益社団法人東京都理学療法士協会 新人養育部長(2002/4-)

論文

- 1) Masashi Matsumura, Hideyuki Usa, Daisuke Ogawa, Kazuna Ichikawa, Masafumi Hata, Hitoshi Takei : Pelvis/lower extremity alignment and range of motion in knee osteoarthritis: A case-control study in elderly Japanese women, Journal of back and musculoskeletal rehabilitation, 33(3) : 515-521, 2020

社会貢献活動

- 1) 荒川区障害者介護給付費等の支給に関する審査会委員, 2017/4/1-

講演・口頭発表等

- 1) 井上薫,飯塚哲子,神尾博代,和田一義,藤田剛,安江淳:地域住民に対する認知症教育の試み「バーチャルリアリティ認知症体験」が参加者に与える効果,第21回日本認知症ケア学会大会
- 2) 飯塚哲子,木村千里,井上薫,神尾博代:中学校と多分野ヘルスケア専門職が連携する「いのちの教育」体験学習に Virtual Reality 認知症体験を導入した中学校生徒への協働実践,第13回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会

論文

- 1) 儀間裕貴,儀間実保子,浅野大喜:N 式幼児運動イメージテストと乳幼児発達スケール(KIDS)の関連. 理学療法学 Physical Therapy Japan, 47(3):247-253, 2020/6/20
- 2) Hidenobu Ohta,Yoshihisa Oishi,Takako Hirose,Sachiko Nakaya,Keiji Tsuchiya,Machiko Nakagawa,Hiroataka Gima,Isao Kusakawa,Hitoshi Yoda,Toshihiro Sato,Toru Sasaki,Hiroshi Nishida,Toshimasa Obonai:Postural change for supine position does not disturb toddlers' napPostural change for supine position does not disturb toddlers' nap. Scientific ReportsScientific Reports, 10(1):11944, 2020/7/20

著書

- 1) 理学療法学テキスト 小児理学療法学. 第3章 疾患・対象児別アプローチ【1】低出生体重児・ハイリスク児, メジカルビュー社, 2020/10/1.
- 2) お母さんとお父さんへ贈る 赤ちゃんの「あたたかい心」を育むヒント, 第二部 11. 感覚運動・認知発達と遊び, atrium, 2021/1/1.
- 3) 発達保育実践政策学研究のフロントランナー, 第3巻:乳幼児の発達科学/第1章:低出生体重児の発達特性と発達支援, 中央法規出版, 2021/2/20.
- 4) リハビリテーションのための人間発達学 第3版, 第2章:胎生期(胎児期)・新生児期の発達, メディカルプレス, 2021/3/31.

Misc

- 1) 小林勝年,儀間裕貴,北原佑:エビデンスに基づく療育・支援とは何か. 子どものこころと脳の発達, 11(1):3-10, 2020/9/1.
- 2) 儀間裕貴,阿部広和:ハイリスク児の評価. 総合リハビリテーション, 48(11):1039-1046, 2020/11/1.

競争的資金等の研究課題

- 1) 儀間裕貴:公益財団法人 明治安田こころの健康財団 第55回(2019年度)研究助成「幼児期における運動能力と運動イメージ機能の関連」, 2019-2020.
- 2) 多賀巖太郎,保前文高,續木大介,儀間裕貴:日本学術振興会 科学研究費助成事業 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))「ヒト胎児の脳発達に関する磁気共鳴画像を用いた縦断研究」,2019/10/7-2023/3/31.

論文

- 1) 鈴木康裕,田島敬之,村上史明,高野大,亀沢和史,青木航大,羽田康司:ボード・ゲームが身体活動量に及ぼす影響—男性職員を対象とした予備的検討—. 運動疫学研究, 23(1):57-69, 2021
- 2) 田島敬之,齋藤義信,小熊祐子:身体活動ガイドラインの認知・知識の評価方法,並びに身体活動量との関連性についてのレビュー. 運動疫学研究, 23(1):15-35, 2021
- 3) 天笠志保,松下宗洋,田島敬之,香村恵介,中田由夫,小熊祐子,井上茂,岡浩一朗:「身体活動を支える 8つの投資」日本語版の紹介. 運動疫学研究, 23(2), 2021 (Advance online publication. <https://doi.org/10.24804/ree.2102>)

Misc

- 1) 小熊祐子,齋藤義信,佐藤真治,田島敬之,田村好史,津下一代,宮下政司:身体活動基準 2013と身体活動指針(アクティブガイド)の改定において 慢性疾患有病者に対する身体活動基準案の作成・方向性の検討. 体力科学, 70(1):19-19, 2021/2/1

講演・口頭発表等

- 1) 小熊祐子,齋藤義信,佐藤真治,田島敬之,田村好史,津下一代,宮下政司:慢性疾患有病者に対する身体活動基準案の作成・方向性の検討. 第 75 回日本体力医学会大会 シンポジウム「身体活動基準 2013と身体活動指針(アクティブガイド)の改定に向けて」,2020/9/1
- 2) 齋藤義信,小熊祐子,今村晴彦,田島敬之,中村翔,成松宏人]:フレイルと住民主体のグループ運動との関連:横断研究. 第 31 回日本疫学会学術総会,2021/1/1

競争的資金等の研究課題

- 1) 齋藤義信,小熊祐子,今村晴彦:日本学術振興会,科学研究費助成事業 基盤研究(C)「高齢者自主グループの運動を普及・継続するための仕組みづくり:住民参加型の実証研究」,研究協力者,2018/4/1-2021/3/1
- 2) 厚生労働省,令和2年度厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)「最新研究のレビューに基づく健康づくりのための身体活動基準 2013 および身体活動指針(アクティブガイド)改定案と新たな基準や指針案の作成」,研究協力者,2020/4/1-2022/3/1

委員歴

- 1) 日本理学療法士協会 ガイドライン・用語策定委員会 糖尿病理学療法ガイドライン システマティックレビュー班員(2018/4/1-)
- 2) 日本運動疫学会 セミナー委員(2018/7/1-)
- 3) スマートウェルネス住宅等推進調査委員会 調査・解析小委員会 委員(2019/10/1-)
- 4) 日本運動疫学会 プロジェクト研究委員(2020/10/1-)

作 業 療 法 学 科

論文

- 1) Supaluck Phadsri,Rieko Shioji,Atsuko Tanimura,Jeerawit Jaknissai,Sopida Apichai,Tippawan Sookruay:Nonpharmacological Treatment for Supporting Social Participation of Adults with Depression,Occupational therapy international, 2021 : 8850364-8850364, 2021

Misc

- 1) 塩路理恵子:【カウンセラーの「問うカ・聴くカ」】森田療法と「問うカ・聴くカ」,臨床心理学, 20(4):411-414, 2020/7
- 2) 塩路 理恵子:【軽度認知障害および初期の認知症の人の支援(医療・心理面)】精神療法のアプローチを生かして軽度認知障害の人の不安を和らげる工夫,日本認知症ケア学会誌, 19(2):364-369, 2020/7

競争的資金等の研究課題

- 1) 塩路理恵子:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「不安症・慢性抑うつへの入院森田療法における「日記」の質的研究」,2021/4/1-2024/3/31

論文

- 1) Ayako Sukegawa,Yuko Ito:Development of an elementary school participation checklist for Japanese children requiring special needs education,World Federation of Occupational Therapists Bulletin:1-11, 2020/11/29
- 2) 助川文字,伊藤祐子:日本における発達障害児に対する学校適応支援を目的とした作業療法的手段,作業療法 Japanese Occupational Therapy Research, 39(5):557-567, 2020
- 3) Daryl Patrick G Yao,Kaoru Inoue,Michael P Sy,Peter Bontje,Natsuka Suyama,Chiyomi Yatsu,Dante A Perez,Yuko Ito: Experience of Filipinos with Spinal Cord Injury in the Use of Assistive Technology: An Occupational Justice Perspective,Occupational therapy international, 2020:6696296, 2020

講演・口頭発表等

- 1) 伊藤祐子,井上薫,徳永千尋,水谷とよ江,東祐二:障害当事者の支援機器ニーズに対する物作りを通じた作業療法人材育成教育 ニーズ&アイデアフォーラムを通して,日本作業療法学会抄録集,54回:PR-28,2020/9
- 2) 伊藤祐子,浦野飛鳥,木村千里:支援ニーズの高いコミュニティの親子への協働的アプローチに関する実践報告,第13回日本保健医療福祉連携教育学会学術集会,2020/10/3
- 3) 助川文字,伊藤祐子:日本の発達障害児のための小学校参加チェックリストの開発,日本作業療法学会抄録集(CD-ROM),54th,2020
- 4) 八重樫貴之,系山智栄,小林隆司,伊藤祐子:学童保育における作業療法コンサルテーション入門講座の取り組み,日本作業療法学会抄録集(CD-ROM),54th,2020
- 5) 浦野飛鳥,伊藤祐子:学校適応に困難がある中学生の語り-日本版青年・成人感覚プロフィールとインタビューより-,日本保健科学学会誌(Web),23,2020

競争的資金等の研究課題

- 1) 小野栄一,能田昂,井上淳,寺内文雄,琴坂信哉,串山久美子,内藤千尋,徳永千尋,東祐二,川口吾妻,高橋智,伊藤祐子,田部絢子,井上薫:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(B)「ニーズに基づく障害者のための自立支援機器開発を学ぶ人材育成プログラムの開発」,2018/4/1-2021/3/31
- 2) 小林隆司,石橋裕,伊藤祐子:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「放課後児童支援員と作業療法士の協業が発達障害をもつ児童のQOLに及ぼす効果」,2019/4-2021/3
- 3) 小林隆司,石橋裕,伊藤祐子:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「放課後児童支援員と作業療法士の協業が発達障害をもつ児童のQOLに及ぼす効果」,2019/4/1-2022/3/31
- 4) 伊藤祐子:地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター共同研究「子ども用 My ストロー開発のためのスクリーニング」,2019/7-2021/3
- 5) 岩永竜一郎,仙石泰仁,徳永瑛子,佐藤葉子,伊藤祐子,加藤寿宏:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「発達障害児支援のための簡易版発達評価・支援ツールの開発」,2020/4/1-2023/3/31
- 6) 伊藤祐子:日本学術振興会 科学研究費助成事業 挑戦的研究(萌芽)「発達障害児とその家族の社会参加に資するセンサーフレンドリーな取り組みの開発」,2020/7/30-2023/3/31

社会貢献活動

- 1) 日本感覚統合学会インストラクター,2009-
- 2) 日本感覚統合学会効果研部部长,2012-
- 3) 東京都立七生特別支援学校外部専門家,2013/4-2021/3
- 4) 荒川区教育委員会研修会講師,2016/8-
- 5) 荒川区子ども応援ネットワークメンバー,2018/7-
- 6) 東京都狛江市立緑野小学校特別支援学級研修会講師,2018/7-
- 7) 産学公連携センターへの協力:学術相談(株式会社エンベックスエデュケーション),2018/12-
- 8) 東京都立永福学園外部専門家,2019/4-2021/3
- 9) 大田区保育課研修会講師,2019/9-
- 10) Asian Journal of Occupational Therapy 査読委員,2019/11-
- 11) 東京都立八王子西特別支援学校外部専門家,2020/4-
- 12) 学校法人神明幼稚園:教諭向け研修会および保護者向け研修会講師,2020/4-11
- 13) (一社)家庭まち創り産学官協創ラボ、(一社)中日幼児教育交流協会主催「子どもの食を栄養と機能から考える」Vo.1 分科会「日本×中国 保育・子育てシンポジウム」シンポジスト,2021/2
- 14) 日本発達系作業療法学会第9回学術大会シンポジウム「発達 OT どこへいく?私が考える発達系の作業療法」シンポジスト,2021/3

委員歴

- 1) 日本発達系作業療法学会 理事(2011/3-)
- 2) 荒川区教育委員会 学校評議員(2013/4-)
- 3) 一般社団法人東京都作業療法士会 子ども委員会(2015/3-)
- 4) 日本福祉用具・生活支援用具協会平成 28 年度戦略的国際標準化加速事業 認知機能支援機器国際標準分科会委員(2016-)
- 5) 荒川区教育委員会 学校評議員(2017/4-)
- 6) 東京都教育庁指導部 特別支援教育指導課 知的障害や発達障害のある児童・生徒への指導法の研究開発事業専門委員(2017/4-)
- 7) 一般社団法人東京都作業療法士会 理事(2018/6-)
- 8) 一般社団法人日本作業療法士協会 代議員(2019/12-)
- 9) WHO Rehabilitation Programme expresses its appreciation and thanks for the participation in the Development Group,Member of the Development Group for Autism Spectrum Disorders (2020/12-2021/7)

論文

- 1) 國方弘子,大嶋伸雄,前田育代,嶋宏美,前田初代,稲熊成憲,木村圭祐:拡大する CBT 実践者の育成,認知療法研究, 13(2):144-153, 2020/8/20

著書

- 1) 集団認知行動療法の進め方, 培風館, 2020/7
- 2) 大嶋伸雄:作業療法カウンセリング Occupational Therapy Counseling, 編著者, 三輪書店, 2020/7

Misc

- 1) 大嶋伸雄:あなたにとって作業療法とは何ですか?(68),作業療法ジャーナル, 54(9):991-991, 2020/8
- 2) 大嶋伸雄:認知行動療法の基礎とリハビリテーションにおける応用,総合リハビリテーション,49(3):269-276, 2021/3

講演・口頭発表等

- 1) 大嶋伸雄:日本認知作業療法研究会・オンライン研修会「認知作業療法基礎(1)」,日本認知作業療法研究会, 2020/6/4
- 2) 大嶋伸雄:日本認知作業療法研究会・オンライン研修会「認知作業療法基礎(2)」,日本認知作業療法研究会,2020/6/5
- 3) 大嶋伸雄:日本認知作業療法研究会・オンライン研修会「カウンセリング基礎」,日本認知作業療法研究会,2020/6/15
- 4) 大嶋伸雄:日本認知作業療法研究会・オンライン研修会「カウンセリング演習」,日本認知作業療法研究会,2020/6/16
- 5) 大嶋伸雄:日本認知作業療法研究会・オンライン研修会「臨床の認知作業療法」,日本認知作業療法研究会,2020/6/18
- 6) 大嶋伸雄:日本認知作業療法研究会・オンライン研修会「高次脳機能障害の認知作業療法」,日本認知作業療法研究会,2020/6/29
- 7) 大嶋伸雄:花の丘病院主催研修会「リハビリテーション・カウンセリングにより患者の主体的 ADL 向上を目指す」(オンライン),花の丘病院主催研修会,2020/9/25
- 8) 大嶋伸雄:日本認知作業療法研究会・オンライン基礎研修会「認知作業療法基礎(1)(2)」,日本認知作業療法研究会,2021/1/17
- 9) 大嶋伸雄:日本認知作業療法研究会・オンライン基礎研修会「臨床の認知作業療法」,日本認知作業療法研究会,2021/1/22
- 10) 大嶋伸雄:日本認知作業療法研究会・オンライン研修会アドバンス・コース「一般社会へ進出する認知作業療法の仕組みと理論」,日本認知作業療法研究会,2021/1/22
- 11) 大嶋伸雄:東京都リハビリテーション病院・作業療法部門研修会(オンライン)「行動変容を促す認知行動療法～作業療法への応用～」,日本認知作業療法研究会,2021/1/15

- 12) 大嶋伸雄:千葉県作業療法士会主催「作業療法カウンセリング研修会(オンライン)」,千葉県作業療法士会,2021/2/11
- 13) 大嶋伸雄:麻生リハビリテーション大学校:特別講義(オンライン)「認知作業療法の基礎」,麻生リハビリテーション大学校,2021/2/24
- 14) 大嶋伸雄:厚生労働省・医療政策機構主催・専門家シンポジウム(オンライン):指定発言,厚生労働省・医療政策機構,2021/2/18

論文

- 1) 小林竜,野村めぐみ,小林法一:わが国における地域在住高齢者の手段的日常生活活動(IADL)維持・低下に関連する要因 観察研究のシステムティックレビュー,日本保健科学学会誌, 23(2):60-74, 2020/9
- 2) 小林法一:【作業のもつ力を活かす作業療法】(第Ⅱ部)現場での作業の活かし方 地域の総合事業における作業の活用方法. 臨床作業療法 NOVA, 17(4):114-120, 2020/12
- 3) Hiroko Miyadera,Hironori Kawamata,Atsuko Tanimura,Toshihiro Ishidai,Norikazu Kobayashi:Efficacy of a program to address older adults' challenges of daily living after disasters,EDUCATIONAL GERONTOLOGY, 46(12):816-827, 2020/12
- 4) 宮寺寛子,川又寛徳,谷村厚子,小林法一:仮設住宅入居高齢者が認識する生活課題の検討,作業療法, 40(1):61-71, 2021/2
- 5) Kenta Nomura,Norikazu Kobayashi:Developing a Group Program for Older Males to Participate in Social Activities in Japan: A Mixed-Methods Study,AMERICAN JOURNAL OF MENS HEALTH, 15(2),2021/3

著書

- 1) 山田孝,小林法一:興味チェックリスト使用者用手引き,一般社団法人 日本人間作業モデル研究所, 2020/9
- 2) リハビリテーション管理学, 第1章3介護保険, 医学書院, 2020/12

Misc

- 1) 小林法一:日常生活を生きがいにつなげるポイント. 専門家に聞く! キーワードトーク「介護ニュース広場」,「介護レク広場.book」, 13:74-75, 2020/5
- 2) 小林法一監修:「介護現場の困った場面も介護レクで解決!」,介護レク広場, (14):8-12, 2020/7
- 3) 谷村厚子,小林法一,石井良和:【コロナ禍における医療人育成】理学療法・作業療法領域 2020年度4年次作業療法学生の作業療法総合臨地実習とそれに関連した学習支援,医学教育, 51(5):577-580, 2020/10
- 4) 猪股英輔,小林法一:一人暮らし高齢者における食行動の特徴—文献的調査分析による構成要素のカテゴリ化—. 東京保健医療専門職大学紀要 1(1) 68-78 2021/3

講演・口頭発表等

- 1) 川原宇央,亀井将太,本田拓也,小林法一:作業療法職能団体における組織率向上の方策 —グループKJ法を用いたブレインストーミングの統合—. 東京都作業療法学会,2020/7
- 2) 小林法一:作業に焦点を当てた老年期の作業療法 - 基調講演 I,日本作業療法学会抄録集,(一社)日本作業療法士協会,2020/9
- 3) 石代敏拓,小林法一:脳卒中後の家事再開の阻害要因と促進要因に関する研究,日本作業療法学会抄録集, 54回:PA-111, 2020/9
- 4) 金塚吉生,木村夏実,高山大輔,小林法一:回復期リハビリテーション病棟における整形外科疾患患者の自宅復帰の特徴 入院中の認知機能の変化に着目して,日本作業療法学会抄録集, 54回:PD-52, 2020/9
- 5) 猪股英輔,須鎌康介,小林法一:子どもと高齢者の世代間交流における活動内容の調査 児童館職員へのフォーカスグループインタビュー,日本作業療法学会抄録集, 54回:PN-78, 2020/9

- 6) 川端敦史,石橋裕,小林法一,小林隆司,石橋仁美:地域在住高齢者に対するタブレットを通じた生活スタイル向上プログラムの開発に関する予備的研究,日本作業療法学会抄録集,54回:ON-53,2020/9
- 7) 野本潤矢,小林法一:ソフトシステム方法論に基づいたワークショップから得られる参加者の学び 認知症カフェ運営課題の検討を通して,日本作業療法学会抄録集,54回:PN-70,2020/9
- 8) 中村美歌,小林法一:ナラティブアプローチにより生きる希望を見出した事例 これからの人生も大切な家族と一緒に過ごしたい,日本作業療法学会抄録集,54回:PJ-36,2020/9
- 9) 木村夏実,小林法一:色カルタを用いた集団活動中の参加者の様子 コミュニケーションと意欲の側面から見えたもの,日本作業療法学会抄録集,54回:PK-26,2020/9
- 10) 安永雅美,後藤與四人,小林法一:訪問リハビリテーション利用者の日々の活動の Channel と担当作業療法士の推測,日本作業療法学会抄録集,54回:PN-32,2020/9
- 11) 二村元気,鹿田将隆,篠原和也,小林法一:作業同一性質問紙の使用により自宅での生活を再構築した一事例,日本作業療法学会抄録集,54回:PN-27,2020/9
- 12) 小林竜,小林法一:回復期リハビリテーション病棟の脳卒中患者における家事再開予測モデルの交差妥当性,日本作業療法学会抄録集,54回:PA-14,2020/9
- 13) 小林法一:埼玉県作業療法士会主催地域包括ケア研修会,講師,2020/12.

競争的資金等の研究課題

- 1) ペイター ボンジェ,小林法一,石橋裕,宮本礼子:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「Development and efficacy of community-based integrated care system interprofessional program for care prevention (kaigo-yobou) based in social-innovation.」,2016/4/1-2021/3/31
- 2) 小林法一:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「コミュニケーションツールによる認知症のBPSD 低減効果の実証と実践マニュアル開発」,2018/4/1-2022/3/31
- 3) 石橋裕,小林法一,小林隆司,石橋仁美:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「虚弱高齢者の作業遂行能力改善に特化した施設型集団プログラムの開発」,2018/4/1-2022/3/31

委員歴

- 1) 日本作業行動学会 理事(2006/9-)
- 2) 東京都作業療法士会 副会長(2010/6-)
- 3) 日本保健科学学会 評議委員(2015/6-)
- 4) 自立支援・重度化防止等に向けた介護支援専門員研修事業カリキュラム検討委員会(東京都) 委員(2018/7-)
- 5) 日本保健科学学会誌誌 副編集長(2019/6-)

論文

- 1) Yoshihiro Usami, Ryuji Kobayashi: Development of an Occupational Therapy Self-checklist for Promoting Information Sharing (SPIS): Validity of the SPIS among Occupational Therapists working in Geriatric Health Service Facilities in Japan. The Journal of Japan Academy of Health Sciences, 22(4):198-208, 2020/6
- 2) 小林隆司, 牧利恵, 宇佐美好洋: アドルフ・マイアーのエネルギー論. 作業行動研究, 24(1):14-19, 2020/6
- 3) Minami S, Aoki H, Kobayashi R, Fukumoto Y, Aoyama T: Transition of a severely hemiparetic upper limb to a supporting upper limb: Development of a purposeful activity-electrical stimulation therapy rehabilitation programme. 日本保健科学学会誌 The Journal of Japan Academy of Health Sciences, 23(1):14-24, 2020/6
- 4) 丁子雄希, 小林隆司: クライアントと作業療法士の協業関係尺度(Collaborative relationship scale between clients and occupational therapists, CRS)の尺度特性の検討. 作業行動研究, 24(2):41-49, 2020/9
- 5) Seigo MINAMI, Ryuji KOBAYASHI, Yoshihiro FUKUMOTO, Hideaki AOKI, Tomoki AOYAMA, Masatoshi TAKEDA: Program for rehabilitation of the chronic severe hemiparesis upper extremity of cerebral stroke survivors: application of purposeful activities and an electrical stimulation therapy program. COGNITION & REHABILITATION, 1(1):74-82, 2020/12
- 6) 牧利恵, 小林隆司: 日本語版職業リハビリテーション質問紙(WORQ-J)の作成～言語的妥当性の検討～. 作業療法, 39(6):765-768, 2020/12
- 7) 南征吾, 小林隆司, 高村幸太, 福本善啓, 青木秀哲, 青山朋樹, 佐野伸之, 嶋田隆一, 肥田光正, 古井透: 成人脳性麻痺者の活動と参加に資する在宅支援プログラム: 事例報告～合目的電気刺激療法の試み～. 大阪河崎リハビリテーション大学紀要, 15():35-41, 2021/3

著書

- 1) 作業療法カウンセリング. joint_work, 三輪書店, 2020/7
- 2) 作業療法理論の教科書: 5W1Hでわかりやすく学べる, メジカルビュー社, 2020/10
- 3) 事例で学ぶ生活行為向上マネジメント第2版, 医歯薬出版, 2021/1

講演・口頭発表等

- 1) 小林隆司: 講義1 理学療法士、作業療法士養成施設における臨床実習制度論. 厚生労働省指定 臨床実習指導者講習会, 2020/7/4
- 2) 南征吾, 小林隆司, 青木秀哲, 福元喜啓, 青山朋樹: 慢性重度片麻痺上肢に対する合目的電気刺激療法の効果: クロスオーバー無作為化比較対照試験. 第57回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2020/8/19
- 3) 古川博章, 南征吾, 小林隆司, 青木秀哲, 福元喜啓, 青山朋樹: 慢性重度片麻痺上肢に上肢機能と生活行為の改善を認めた事例—合目的電気刺激療法の試み—. 第57回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2020/8/19
- 4) 長尾宗典, 小林隆司: 中国残留邦人である通所リハビリテーション利用者女性とその夫との調理活動—生活行為向上マネジメントを活用して—. 第54回日本作業療法学会, 2020/9
- 5) 川端敦史, 石橋裕, 小林法一, 小林隆司, 石橋仁美: 地域在住高齢者に対するタブレットを通じた生活スタイル向

- 上プログラムの開発に関する予備的研究. 第 54 回日本作業療法学会,2020/9
- 6) 永田作馬,吉田篤史,大石和磨,南征吾,小林隆司: 高次脳機能障害支援ネットワークにおける現状の課題: 質的記述的研究. 第 54 回日本作業療法学会,2020/9
 - 7) 南征吾,小林隆司,石川健二,青木秀哲,青山朋樹: 慢性重度麻痺側上肢に対する合目的的活動と電気刺激療法の併用が脳機能に及ぼす影響(事例報告) —事象関連電位を用いた検討—. 第 54 回日本作業療法学会,2020/9
 - 8) 船橋凌,篠田昭,南征吾,小林隆司: 調理訓練を通して麻痺手の使用頻度と生活意欲が向上した症例 —補助手交換に着目して—. 第 54 回日本作業療法学会,2020/9
 - 9) 那須識徳,生田純一,小林隆司: 作業参加状況が,脳卒中患者の運転再開と関係していた. 第 54 回日本作業療法学会,2020/9
 - 10) 佐々木露葉,小林隆司,小内友紀子: 夜間頻尿により活動性が低下した高齢片麻痺女性に対するチームアプローチ —独居に向けた取り組み—. 第 54 回日本作業療法学会,2020/9
 - 11) 八重樫貴之,糸山智栄,小林隆司,伊藤祐子: 学童保育における作業療法コンサルテーション入門講座の取り組み. 第 54 回日本作業療法学会,2020/9
 - 12) 丁子雄希,小林隆司: クライアントと作業療法士の協業関係尺度の特性. 第 54 回日本作業療法学会, 2020/9
 - 13) S. Minami,R. Kobayashi,H. Aoki,Y. Fukumoto,A. Tomoki: The effect of purposeful activity and electrical stimulation on the upper limb in a patient with chronic severe hemiplegic upper limb - a crossover randomized controlled trial. 11th World Congress for NeuroRehabilitation11th World Congress for NeuroRehabilitation,2020/10/7
 - 14) R. Kobayashi,S. Minami,K. Ishikawa,H. Aoki,Y. Fukumoto,A. Tomoki: Effects of the combined use of purposeful activity and electrical stimulation on the brain function pertaining to upper-limb function in patients with chronic severe paralysis (using event-related potentials). 11th World Congress for NeuroRehabilitation11th World Congress for NeuroRehabilitation,2020/10/7
 - 15) 小林隆司,小川彰,能智正博,藤田真樹,増田司,長谷川幹: 脳損傷者の<主体性>に関する研究～質問票の開発～. 第 30 回日本保健科学学会,2020/10/11
 - 16) 田村彩,小林隆司,山田優樹,安齋哲也: 放課後等デイサービスにおける作業療法士の体験～文献研究～. 第 30 回日本保健科学学会,2020/10/11
 - 17) 小林隆司: 演習2 基本的態度・臨床技能・臨床の思考過程の見学・模倣・実施の実践. 厚生労働省指定臨床実習指導者講習会,2020/11/7
 - 18) 小林隆司: 講義5 職業倫理および連携論 (多職種連携・チームワーク論、卒後教育との関連). 厚生労働省指定臨床実習指導者講習会,2020/11/8
 - 19) 長谷川幹,小林隆司,能智正博,藤田真樹,増田司: 脳損傷者の<主体性>に関する研究(Ⅰ) —質問票の開発. 日本リハビリテーション医学会第4回秋季学術集会,2020/11/21
 - 20) 能智正博,小川彰,小林隆司,藤田真樹,長谷川幹: 脳損傷者の<主体性>に関する研究(Ⅱ) —質問票に基づく変容内容の探索. 日本リハビリテーション医学会学第4回秋季学術集会,2020/11/22
 - 21) 小林隆司: 講義 6 臨床実習指導方法論③ 生活行為向上マネジメント(MTDLP). 厚生労働省指定臨床実習指導者講習会,2020/12/13
 - 22) 小林隆司: 高齢者の心身の特徴. 国分寺市高齢者生きがい・助け合い活動研修,2020/12/21
 - 23) 小林隆司: 研究法概論. 認定作業療法士取得研修(研究法),2021/2/20

競争的資金等の研究課題

- 1) 南征吾,福元喜啓,青木秀哲,小林隆司,青山朋樹: 日本学術振興会,科学研究費助成事業 基盤研究(C)「他

動型／随意介助型電気刺激装置の併用と合目的動作による重度片麻痺上肢の改善効果」,2019/4/1-2022/3/31

- 2) 小林隆司,石橋裕,伊藤祐子:日本学術振興会,科学研究費助成事業 基盤研究(C)「放課後児童支援員と作業療法士の協業が発達障害をもつ児童のQOLに及ぼす効果」,2019/4/1-2022/3/31
- 3) 石橋裕,小林法一,小林隆司,石橋仁美:日本学術振興会,科学研究費助成事業 基盤研究(C)「虚弱高齢者の作業遂行能力改善に特化した施設型集団プログラムの開発」,2018/4/1-2022/3/31
- 4) 浅川康吉,小林隆司:日本学術振興会,科学研究費助成事業 基盤研究(C)「居宅内歩行速度モニタリングによる歩行機能低下予測モデルの開発」,2020/4/1-2024/3/31

受賞

- 6) 鎌田小百合,小林隆司:日本作業行動学会 優秀論文(研究の部)「入学直後の作業療法学生に対し、主体的な学生生活を支援するための「学生生活自己マネジメントプログラム」の検討」, 2020/7

社会貢献活動

- 1) 東京都作業療法士会:東京作業療法・査読員.[others],学術誌東京作業療法,2016/6/26-
- 2) 一般社団法人日本作業療法士協会:教育部 部員.[organizing_member],2017/4/1-
- 3) 日本作業行動学会:作業行動研究 編集委員長.[editor],2018/4/1-
- 4) 日本作業療法士協会:厚生労働省指定 臨床実習指導者講習会 世話人.[advisor],2020/10/10-2020/10/11
- 5) 東京都作業療法士会:厚生労働省指定 臨床実習指導者講習会 世話人.[advisor],2020/11/7-2020/11/8
- 6) 日本作業療法士協会:厚生労働省指定 臨床実習指導者講習会 世話人.[advisor],2020/11/14-2020/11/15
- 7) 東京都作業療法士会:厚生労働省指定 臨床実習指導者講習会 世話人.[advisor],2020/12/12-2020/12/13
- 8) 厚生労働省指定 臨床実習指導者講習会 世話人.[advisor],2020/12/26-2020/12/27

委員歴

- 1) 日本作業療法研究学会 理事(2007/4/1-)
- 2) 日本作業療法士協会 養成教育委員会(2017/4/1-)
- 3) 日本保健科学学会 評議員(2018/4/1-)
- 4) 日本作業行動学会 副会長・学術誌編集委員長(2019/4/1-)
- 5) ロボットと作業療法研究会 会長(2019/10/1-)

論文

- 1) 宮本礼子,石橋裕,土居義典:学内臨床クラークシップの経験が作業療法学生に与える影響 混合研究法を用いた包括的検討,作業療法, 40(1):21-33, 2021/2

Misc

- 1) 井上俊輔,石橋裕:通所型サービス C におけるサービス内容の現状 文献研究による傾向と考察,日本作業療法学会抄録集, 54 回:PN-75, 2020/9
- 2) 川端敦史,石橋裕,小林法一,小林隆司,石橋仁美:地域在住高齢者に対するタブレットを通じた生活スタイル向上プログラムの開発に関する予備的研究,日本作業療法学会抄録集, 54 回:ON-53, 2020/9
- 3) 大宮園子,石橋裕,石橋仁美:Nominal group technique を用いた化粧行為評価表試作版の内容的妥当性の検討,日本作業療法学会抄録集, 54 回:OP-8, 2020/9
- 4) 麓文太,石橋裕:脳血管障害発症早期の心身機能、活動と技能の関連性,日本作業療法学会抄録集, 54 回:PA-8, 2020/9
- 5) 川口朋子,谷村厚子,石橋裕,片岡聡子,稲富惇一,小林幸治:ポストコロナ社会を考える 変わるもの,変わらないもの コロナ禍で変わる臨床実習,作業療法ジャーナル, 55(3):272-278, 2021/3

競争的資金等の研究課題

- 1) 福井里美,久村和穂,三浦里織,坂井志織,石橋裕,新井敏子:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「がん化学療法サバイバーが就労する「働きづらさ」の支障程度を示す枠組の開発」,2017/4/1-2022/3/31
- 2) 石橋裕:日本学術振興会 科学研究費基盤研究 C「虚弱高齢者の作業遂行能力改善に特化した施設型プログラムの開発」,2018/4-2022/3
- 3) 石橋裕,小林法一,小林隆司,石橋仁美:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「虚弱高齢者の作業遂行能力改善に特化した施設型集団プログラムの開発」,2018/4/1-2022/3/31
- 4) 小林隆司,石橋裕,伊藤祐子:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「放課後児童支援員と作業療法士の協業が発達障害をもつ児童の QOL に及ぼす効果」,2019/4/1-2022/3/31
- 5) 石橋仁美,石橋裕:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「がん患者の外見と生活の質の向上を目的としたアピアランス自己評価表の開発」,2020/4/1-2023/3/31

委員歴

- 1) 東京都荒川区介護予防アドバイザー 委員(2013/4-)

論文

- 1) Daryl Patrick G. Yao,Kaoru Inoue,Michael P. Sy,Peter Bontje,Natsuka Suyama,Chiyomi Yatsu,Dante A. Perez,Yuko Ito : Experience of Filipinos with Spinal Cord Injury in the Use of Assistive Technology: An Occupational Justice Perspective. Occupational Therapy International, 2020:1-10, 2020/11/25
- 2) Yao DPG,Bontje P,Inoue K,Tanaka A,Lacsamana-Manalaysay J: Coping with bereavement: The Experience of a Filipino who lives life using a wheelchair. World Federation of Occupational Therapists Bulletin, 2020/12
- 3) Yao DPG,Beltran KMB,Santos TNH,Inoue K: A Literature Review on the Facilitators and Barriers on the Uptake of Interprofessional Collaboration in the Field of Assistive Technology within Rehabilitation Medicine. Philippine Journal of Allied Health Sciences, 4(2), 2021/2
- 4) Yao DPG,Andaya GD,Inoue K: A Rapid Literature Review on the Strategies for Collaboration Between Occupational therapists and Speech-Language Therapists in the Field of Augmentative and Alternative Communication. Philippine Journal of Allied Health Sciences, 2021/2

Misc

- 1) 井上薫:福祉用具・福祉機器で自立した生活を 第20回 ロボットレクリエーションの現状,ふれあいケア, 2021/1
- 2) 井上薫:福祉用具・福祉機器で自立した生活を 第21回 癒しとロボット,ふれあいケア, 2021/2

講演・口頭発表等

- 1) 井上薫,飯塚哲子,神尾博代,和田一義,藤田剛,安江淳:地域住民に対する認知症教育の試み,第21回日本認知症ケア学会大会,2020/5/30
- 2) 斎藤梨菜,井上薫:脳卒中高齢者の椅子座位上の仙骨座り姿勢が上肢機能に与える影響,第54回日本作業療法学会,2020/9/25
- 3) 伊藤祐子,井上薫,徳永千尋,水谷とよ江,東祐二:障害当事者の支援機器ニーズに対する物作りを通じた作業療法人材育成教育—ニーズ&アイデアフォーラムを通して—,第54回日本作業療法学会,2020/9/25
- 4) 岡本絵里加,井上薫,佐々木千寿,河野光伸,吉武将司:認知症患者の視点を学んだ作業療法学生における自己認識の変化—パーソン・センタード・ケアの概念を学ぶ学生教育プログラムの効果—,第54回日本作業療法学会,2020/9/25
- 5) 井上薫:対象者の心理社会機能の改善に資するコミュニケーションロボットを使用した活動とケアのヒント,第54回日本作業療法学会 シンポジウムⅢ 科学技術(ロボット・AI・ICTなど)を活用した暮らしを支える作業療法の効果,2020/9/25
- 6) Kaoru Inoue,Natsuka Suyama,Chiyomi Yatsu,Chihiro Sasaki,Erika Okamoto: Trial of "dementia supporter education" for international students from Southeast Asia, The 54th Japanese Occupational Therapy Congress & Expo in Niigata 2020,2020/9/25
- 7) Dini Fajariani,Daryl Patrick Yao,Kaoru Inoue,Yuko Ito: Handwriting intervention for primary school student with a lack of visual perceptual ability and HWD —A literature review—, The 54th Japanese Occupational Therapy Congress & Expo in Niigata 2020, 2020/9/25
- 8) 井上薫,佐々木千寿,岡本絵里加:作業療法学生に対する福祉用具等に関する教育の現状—都六県にお

ける作業療法士養成大学のシラバスの分析ー,第30回日本保健科学学会,2020/10/11

- 9) 岡本絵里加,井上薫,佐々木千寿:作業療法学生に向けた認知症教育プログラムにおける学習効果一ループリック評価を通してー,第30回日本保健科学学会,2020/10/11
- 10) 清成芙美,井上薫:コミュニケーションロボットによるレクリエーションと2次元条件と3次元条件で得た場合の印象の違い,第30回日本保健科学学会,2020/10/11
- 11) 黒川遼,和田一義,倉持航平,木見田康治,井上薫,下村芳樹:RGBDセンサーを用いたロボット・セラピー実施者の動作計測の試み,ロボティクス・メカトロニクス講演会,2020/11

競争的資金等の研究課題

- 1) 井上薫:独立行政法人日本学術振興会 科学研究費補助金(B)「日本式ケア場面におけるコミュニケーションロボットの効果」,2019/4-2022/3
- 2) 東京都立大学 2020年度傾斜配分研究費(学部)「生活支援におけるロボットの役割」,2020/5-2021/3

社会貢献活動

- 1) 作業療法教育指導者スキルアップ講座
- 2) 東京都作業療法士会 福祉用具部会委員
- 3) 日本生活支援工学会編集委員会編集委員
- 4) 日本リハビリテーション工学協会評議員
- 5) 日本保健科学学会編集委員会編集委員
- 6) J-P-D ネットワーク 世話人
- 7) 認知症サポーター講座(尾久地域包括センターと連携による),認知症サポーター養成講座,2017/10/26-ほか

その他

- 1) 編集委員会委員,日本生活支援工学会,2005/4-
- 2) 編集委員会委員,日本保健科学学会,2008/4-
- 3) 福祉用具部会,東京都作業療法士会,2010/4-
- 4) 査読委員,東京都作業療法学会,2013/4-
- 5) 学術部 査読委員,東京都作業療法士会,2013/4-
- 6) 世話人,J-P-D ネットワーク東日本,2015/4-
- 7) 代議員,日本リハビリテーション工学協会,2016/4-
- 8) 介護認定審査委員会委員,荒川区,2017/4-
- 9) 2019年生活行為工夫情報モデル事業事業担当者,日本作業療法士協会,2017/4-
- 10) 日本作業療法学会 学会演題審査委員,日本作業療法士協会,2018/4-
- 11) 部会委員,一般社団法人在宅ヘルスケア製品等の標準化部会,2019/7-

論文

- 1) 藺牟田洋美: 公募シンポジウム 年代別の引きこもりの疾患、予防・対策 社会的フレイル・介護予防の視点からとらえた高齢期の閉じこもり支援, 日本公衆衛生学会総会抄録集, 79 回: 202, 2020/10
- 2) Sachiko Yamazaki, Koji Fujita, Hiromi Imuta: Development of a scale measuring barriers to going out among community-dwelling older adults, Geriatrics & gerontology international, 21(2): 238-244, 2021/2

Misc

- 1) 藺牟田洋美: 【フレイルの社会的側面について】フレイルの社会的側面への介入 ハイリスク高齢者のためのプログラム開発の重要性, 老年社会科学, 42(1): 56-61, 2020/4
- 2) 藤田幸司, 山崎幸子, 藺牟田洋美: 閉じこもり発生の予測因子としてのネガティブ・ライフイベント及びメンタルヘルス, 日本老年社会科学学会, 2020/6
- 3) 山崎幸子, 藺牟田洋美, 藤田幸司: 農村地域における閉じこもり予備群とその状態像の解明, 日本公衆衛生学会総会抄録集, 79 回: 385, 2020/10
- 4) 藺牟田洋美: 【フレイル予防・対策: 基礎研究から臨床、そして地域へ】フレイルの全体像を学ぶ 社会的フレイル概念とアプローチ, 2020: 69-76, 2021/3

講演・口頭発表等

- 1) 藺牟田洋美: ハッピーエイジングについて考えましょうーコロナ禍で高齢期の人たちの外出頻度と社会的活動はどう変化したのでしょうかー, 荒川コミュニティカレッジ, 2020/11/21
- 2) 藺牟田洋美: 閉じこもり高齢者の実態と ライフレビューの実践法, 横浜市訪問型短期予防サービス従事者研修, 2020/11/30
- 3) 藺牟田洋美: はじめまして。回想法。思い出あらかわ研修会, 2020/12/9

競争的資金等の研究課題

- 1) 藤田幸司: 日本学術振興会 科学研究費 基盤研究(C)「高齢期におけるライフイベントのメンタルヘルスおよび外出頻度への影響に関する研究」, 2017/4-2021/3

社会貢献活動

- 1) 日本学術会議: 閉じこもりと心身の健康との関連, 2016/7/17-
- 2) 株式会社 神谷製作所: 高齢者の社会参加を促すための意識調査【シニア世代におけるコロナ禍の外出・社会参加影響調査】, 2020/8/1-2020/9/11
- 3) 日本ホームヘルパー協会: コロナ禍がもたらした高齢者の生活様式と健康の変化, 2020/8/20-

委員歴

- 1) 日本老年社会科学会 査読委員(2014/4-)
- 2) 日本老年社会科学会 評議員(2015/4-)
- 3) 日本臨床発達心理士会神奈川支部 副支部長(2015/4-2020/5)
- 4) 日本老年臨床心理学会 評議員(2018/4-)
- 5) 日本老年社会科学学会 奨励賞および論文賞選考委員(2019/4-)
- 6) 日本臨床発達心理士会神奈川支部 支部長(2020/6-)

その他

- 1) 安心の設計 フレイル講座 ICT使い健診効率化 , 読売新聞社, 読売新聞, 2021/1/18.

論文

- 1) 谷村厚子: 当事者参加型精神科作業療法研究と幸福の関係. 作業行動研究, 24(1):9-13, 2020/6.
- 2) 谷村厚子, 小林法一, 石井良和: 【コロナ禍における医療人育成】理学療法・作業療法領域 2020 年度 4 年次作業療法学生の作業療法総合臨地実習とそれに関連した学習支援. 医学教育, 51(5):577-580, 2020/10.
- 3) Hiroko Miyadera, Hironori Kawamata, Atsuko Tanimura, Toshihiro Ishidai, Norikazu Kobayashi: Efficacy of a program to address older adults' challenges of daily living after disasters, Educational Gerontology, 46(12): 816-827, 2020/12/1.
- 4) 谷村厚子: 【つながり再考!】つながりを保ち新しい当たり前の生活の構築を支援する作業療法. 東京作業療法, 9:8-13, 2021/2.
- 5) 宮寺寛子, 川又寛徳, 谷村厚子, 小林法一: 仮設住宅入居高齢者が認識する生活課題の検討. 作業療法, 40(1):61-71, 2021/2.

Misc

- 1) 本田拓也, 谷村厚子: 高齢者を対象とした急性期の作業療法研究の現状に関する文献レビュー 過去 5 年間における国内と海外の比較. 第 54 回日本作業療法学会抄録集: PJ-39, 2020/9.
- 2) 古御門幸奈, 谷村厚子, 西村卓也: 新人療法士対象の実技に焦点を当てた 1 日研修の有用性 実施 3 ヶ月後の参加者アンケート調査から. 第 54 回日本作業療法学会抄録集: PR-31, 2020/9.
- 3) 武田将, 谷村厚子, 伊賀博紀: 作業参加とプレフレイル及び心理社会的状態の関連構造の検討 地域で自主活動に参加する高齢者を対象とした分析. 第 54 回日本作業療法学会抄録集: ON-24, 2020/9.
- 4) 川口朋子, 谷村厚子, 石橋裕, 片岡聡子, 稲富惇一, 小林幸治: ポストコロナ社会を考える 変わるもの, 変わらないもの コロナ禍で変わる臨床実習, 作業療法ジャーナル 55(3):272-278, 2021/3.

講演・口頭発表等

- 1) 本田拓也, 谷村厚子: 第 30 回日本保健科学学会学術集会, 2020/10.
- 2) 中島彩, 谷村厚子: 第 30 回日本保健科学学会学術集会, 2020/10.

社会貢献活動

- 1) 荒川区立地域生活支援センター アゼリア, 医療法人風鳴会 地域生活支援センター サポートセンターきぬた: 地域生活支援事業支援(荒川区, 世田谷区). 2006/9-
- 2) 一般社団法人日本作業療法士協会: 一般社団法人日本作業療法士協会 学術部部員. 2011/6-
- 3) 一般社団法人東京都作業療法士会: 一般社団法人東京都作業療法士会 学術部担当理事. 2014/6-

著書

- 1) Mime Hashimoto:福祉機器選び方・使い方 初めての住宅改修 How to choose and use welfare equipment First home renovation, bathing, toilet. single_work, 日本保健福祉広報協会, 2020/10
- 2) Mime Hashimoto:人生 100 年の家づくり Building a house for 100 years. contributor, 住宅内事故は健康長寿の大敵! その多くは居室で起きている, 株式会社エクスナレッジ, 2020/11

Misc

- 1) 橋本美芽:住環境の評価と整備の基礎知識,総合リハビリテーション, 48(10):957-962, 2020/10
- 2) 橋本美芽:特別企画 住まいの事故の特徴と安全な環境づくり,月刊 ケアマネジメント, 32(2):25-28, 2021/1

講演・口頭発表等

- 1) 太田智之,榎宏朗,井上由貴子,伊藤利之,橋本美芽:在宅移行期における障害高齢者の主観的健康感とストレス対処力,及び環境要因に対する認識との関連,第 54 回日本作業療法学会 The 54th Japanese Occupational Therapy Congress & Expo in Niigata,2020/9/25

競争的資金等の研究課題

- 1) 日本学術振興会 科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)「認知症高齢者を対象とした住環境整備の特性の解明」, principal_investigator,2021/4/20-2021/3/23

委員歴

- 1) 日本リハビリテーション工学協会 SIG 住まいづくり 代表(2008/8-)
- 2) 一般社団法人シルバーサービス振興会 介護保険における住宅改修の工程管理認定制度基準認定委員会 (2013/10-)
- 3) 日本認知症ケア学会 関東 2 地域部会委員(2014/6-2020/5)
- 4) 横浜市建築局 横浜市都市計画審議会委員(2014/11-)
- 5) 荒川区バリアフリー基本構想推進協議会 委員長(2015/3-)
- 6) 日本建築学会建築計画委員会高齢者・障がい者等居住小委員会 幹事(2015/4-)
- 7) 日本生活支援工学会 理事(2016/4-)
- 8) 荒川区尾久図書館 設計アドバイザー(2017/4-2021/3)
- 9) 横浜市福祉局 横浜市福祉のまちづくり推進会議専門委員会副委員長(2017/9-)
- 10) 船橋市 都市計画審議会委員(2018/4-)
- 11) 千代田区 都市計画マスタープラン改訂改訂検討委員会委員(2018/4-2021/3)

論文

- 1) 宮本礼子,石橋裕,土居義典:学内臨床クラークシップの経験が作業療法学生に与える影響—混合研究法を用いた包括的検討—The impact of clinical clerkship experience on campus for occupational therapy students -Comprehensive study using Mixed Methods Research -. 学術誌 作業療法 Japanese Occupational Therapy Research, 40(1):21-33, 2021/2/1
- 2) 丸山祥,村仲隼一郎,宮本礼子,ボンジェペイター:日本の作業療法臨床実習における教育評価の開発と使用に関する課題:スコopingレビュー-Issues in the development and use of educational assessment related to occupational therapy fieldwork in Japan: A scoping review. 作業療法教育研究 The Japanese journal of Research for the occupational therapy education, 20(2):21-29, 2021
- 3) 丸山祥,神保洋平,笹田哲,宮本礼子,ボンジェペイター:作業療法の臨床リズニング評価尺度の開発:内容的妥当性の検討 Development of a clinical reasoning assessment scale in occupational therapy: A content validity study. 学術誌 作業療法 Japanese Occupational Therapy Research, 2021

講演・口頭発表等

- 1) 川又寛徳,井口知也,宮本礼子:作業リテラシーにおける作業についての情報を評価する視点 A Viewpoint for Evaluating Information about Occupation in Occupational Literacy. 第 54 回日本作業療法学会 The 54th Japanese Occupational Therapy Congress,2020/9/26
- 2) 中村泰久,嶋崎歩,穴水幸子,三村将,宮本礼子,是木明宏:NIRS による自由構成課題・模倣構成課題遂行時の脳賦活反応の検討. 第 44 回日本神経心理学会学術集会,2020/10/1
- 3) 姫田大樹,宮本礼子:半側空間無視が重症化する関連要因の検討-文献研究-. 第 30 回日本保健科学学会学術集会, ,2020/10/11
- 4) 宮本礼子,川又寛徳,井口知也:日常的作業価値判断の選択肢提示方法による脳の機能的結合性の相違. 第 23 回日本ヒト脳機能マッピング学会,2021/3/4

競争的資金等の研究課題

- 1) 宮本礼子:文部科学省,科学研究費補助金(基盤 C)「他者との関係継続の予期が顔認知に及ぼす影響—fMRIを用いた基礎的検討—」, principal_investigator,2018/4-2021/3

受賞

- 1) 宮本礼子,大嶋伸雄:東京都立大学,ベストティーチングアワード「動画作成課題による Active Learning 教育の推進—高次脳機能障害に対する支援役割の理解を目指した新たな取り組み—」, 2020/7

社会貢献活動

- 1) 東京都作業療法士会:東京都作業療法士会 学会演題査読委員,2012/6/10-
- 2) 東京都作業療法士会:東京都作業療法士会 学術誌査読委員,2013/2/1-2022/6/30
- 3) 一般社団法人 日本作業療法士協会:日本作業療法学会 学会演題査読委員,2014/12/1-2023/3/31

- 4) 日本保健科学学会:日本保健科学学会誌 査読委員,2014/12/1-
- 5) 東京都総合高次脳機能障害研究会:東京都総合高次脳機能障害研究会 幹事,2017/4/7-
- 6) Asian Journal of Occupational Therapy:Asian Journal of Occupational Therapy 論文査読 Asian Journal of Occupational Therapy Reviewer.[others],Asian Journal of Occupational Therapy,2020/6/29-2023/6/30

委員歴

- 1) 日本保健科学学会 学会運営委員(2012/4/1-)
- 2) 東京都作業療法士会 学会演題査読委員(2012/6/1-)
- 3) 東京都作業療法士会 学術誌「東京作業療法」査読委員(2014/7/1-)
- 4) 日本保健科学学会誌 査読委員(2014/12/1-)
- 5) 日本作業療法士協会 学会演題査読委員(2014/12/1-)
- 6) 東京都総合高次脳機能障害研究会 幹事(2017/4/1-)
- 7) 作業療法ジャーナル 編集同人(2019/9/1-)

その他

- 1) 作業療法士免許 取得, 2003/4/1
- 2) 認定作業療法士 取得, 2012/4/1
- 3) A-ONE 認定評価者 取得, A-ONE Training course, Arnadottir OT-ADL Neurobehavioral Evaluation(A-ONE), 2013/9/1
- 4) 第1・2回 臨床神経心理士講習会 修了, 2020/11/1

放 射 線 学 科

論文

- 1) Tomoyuki Ohta, Takako Shirakawa, Shinya Okada, Naohiro Ishii, Shigeru Kiryu et al.: In vitro demonstration of melanoma metastasis in lymph nodes of prepared specimens using an LED-based multispectral photoacoustic ultrasound imaging system. Journal of Medical Ultrasound, 29(1):50-52, 2020/5/1
- 2) Hiroki Ohta, Nhat-Minh Vo, Junichi Hata, Koshiro Terawaki, Takako Shirakawa, Hiroataka Okano: Utilizing Dynamic Phosphorous-31 Magnetic Resonance Spectroscopy for the Early Detection of Acute Compartment syndrome: A Pilot Study on Rats. Diagnostics, 11(4):586-586, 2021/3/1

Misc

- 1) 白川崇子, 古川 颯: リンパ節: 反応性リンパ節とリンパ節転移と悪性リンパ腫 対比して学ぶエコー所見で鑑別に悩む疾患. 臨床検査, 65(1):74-78, 2021/1/1.

講演・口頭発表等

- 1) 古川 颯, 白川崇子, 岸本 光夫: WHO Classification of Tumours 5th Edition の概要. 第 79 回医学放射線学会総会, 2020/5/15
- 2) 伊東里菜, 畑 純一, 関布美子, 力武聖月, 小牧裕司, 白川崇子: 筋ジストロフィーにおける骨格筋変性の MRI. 第 79 回医学放射線学会総会, 2020/5/15
- 3) 飯田真由, 畑 純一, 羽賀柔, 関布美子, 吉丸大輔, 岡野栄之, 白川崇子: 非ヒト霊長類の大規模脳 MRI データベースを用いた脳形態推移. 第 79 回医学放射線学会総会, 2020/5/23
- 4) Mayu Iida, Junichi Hata, Yawara Haga, Akiko Uematsu, Fumiko Seki, Daisuke Yoshimaru, Kei Hagiya, Hiroataka Okano, James, Hideyuki Okano, Takako Shirakawa: Age-related changes in brain morphology based on a large-scale MRI database of non-human primates. International Society of Magnetic Resonance in Medicine Virtual Conference & Exhibition (ISMRM), 2020/8/8
- 5) Rina Ito, Junichi Hata, Mayu Iida, Fumiko Seki, Mitsuki Rikitake, Yuji Komaki, Chihoko Yamada, Daisuke Nakashima, Hiroataka Okano, Takako Shirakawa: Assessment of skeletal muscle pathology in Dystrophin-deficient mice using structural and functional Diffusion MRI. International Society of Magnetic Resonance in Medicine Virtual Conference & Exhibition (ISMRM), 2020/8/8
- 6) 米虫敦, 奥田逸子, ウッドハムス玲子, 煎本正博, 白川崇子, 米虫隆貴: IVR 医の職業被曝による顔面非対称性老化についての調査研究. 第 49 回日本 IVR 学会総会, 2020/8/25
- 7) Mayu Iida, Junichi Hata, Fumiko Seki, Yawara Haga, Daisuke Yoshimaru, Kei Hagiya, Hiroataka Okano, James, Hideyuki Okano, Takako Shirakawa: コモンマーモセットの年齢に伴う脳形態変化に関する研究, 第 48 回日本磁気共鳴医学会大会, 2020.9.14-10.4, 2020/9/14
- 8) 白川崇子, 古川 颯, 中田典夫, 太田智行, 佐藤直人: LED 光超音波による魚眼球網膜/虹彩のメラニン描出, 日本超音波医学会 第 93 回学術集会, 2020/12/1

競争的資金等の研究課題

- 1) 白川崇子, 畑 純一, 酒井晃二, 関根紀夫, 松浦勉, 古川 颯, 山田 恵, 岡野ジェイムス洋尚: 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「高次脳活動中の高濃度酸素吸入による脳血流変化: NIRS+fMRI 同時データ解析」, 2018/4/1-2021/3/1.

- 2) 関根紀夫,古川顕,白川崇子,岡野ジェイムス洋尚,山田恵,松浦勉:日本学術振興会 科学研究費助成事業
基盤研究(C)「NIRSを用いた高次脳活動時の脳血液量増加持続時間の解析」,2020/4/1-2023/3/1.

論文

- 1) Hosokawa S, Inoue K, Takahashi Y, Kano D, Nakagami Y, Nakazawa S, Suzuki K, Fukushi M: Validation of the scatter fraction obtained from the cylindrical phantom for calculating noise equivalent count in clinical PET examinations. Japanese Journal of Nuclear Medicine Technology, 40(2):135-141, 2020/4
- 2) Inoue K, Fukushi M, Kurokawa M, Kondo H, Shimizu H, Tsuruoka H, Ichimira K, Tanifuji H, Veerasamy N, Nakazawa S, Taguchi Y: Ecological half-lives of radiocesium on Izu-Oshima Island related with the Fukushima Daiichi nuclear power plant accident. Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry, 324(1):291-300, 2020/4
- 3) Inoue K, Fukushi M, Furukawa A, Sahoo SK, Veerasamy N, Ichimura K, Kasahara S, Ichihara M, Tsukada M, Torii M, Mizoguchi M, Taguchi Y, Nakazawa S: Impact on gadolinium anomaly in river waters in Tokyo related to the increased number of MRI devices in use. Marine Pollution Bulletin, 154(111148), 2020/5
- 4) Veerasamy N, Takamasa A, Murugan R, Kasar S, Aono T, Inoue K, Fukushi M, Sahoo SK: Chemical Separation of Uranium and Precise Measurement of $^{234}\text{U}/^{238}\text{U}$ and $^{235}\text{U}/^{238}\text{U}$ Ratios in Soil Samples Using Multi Collector Inductively Coupled Plasma Mass Spectrometry. Molecules, 25(9):2138, 2020/5/3
- 5) Inoue K, Sahoo SK, Veerasamy N, Kasahara S, Fukushi M: Distribution patterns of gamma radiation dose rate in the high background radiation area of Odisha, India. Journal of Radioanalytical and Nuclear Chemistry, 324(3):1423-1434, 2020/6
- 6) 井上一雅: α 線放出治療薬の適正管理に向けた医療機関用 α 線スペクトロメータの開発. 医療の広場, 60(7):20-24, 2020/7
- 7) Inoue K, Fukushi M, Le VT, Tsuruoka H, Kasahara S, Veerasamy N: Distribution of gamma radiation dose rate related with natural radionuclides in all of Vietnam and radiological risk assessment of the built-up environment. Scientific Reports, 10(1):12428, 2020/7/24
- 8) Veerasamy N, Sahoo SK, Inoue K, Arae H, Fukushi M: Geochemical behavior of uranium and thorium in sand and sandy soil samples from a natural high background radiation area of the Odisha coast, India. Environmental Science and Pollution Research International, 27(25):31339-31349, 2020/9
- 9) Inoue K, Fukushi M, Furukawa A, Sahoo SK, Veerasamy N, Kurokawa M, Kondo H, Shimizu H, Tsuruoka H, Mitsumoto T, Koyama K, Hosokawa S: Detection of anthropogenic gadolinium in river waters in Hokkaido, Japan. Japanese Journal of Education for Radiological Technology, 8:11-16, 2020/12
- 10) 細川翔太, 井上一雅, 高橋康幸, 加納大輔, 中神佳宏, 中澤脩人, 渡辺侑也, 白川浩二, 福士政広: PET装置の構成および性能と散乱成分の関係. 核医学技術, 40(4):389-398, 2020/12
- 11) Moriyama H, Daino K, Ishikawa A, Imaoka T, Nishimura M, Nishimura Y, Takabatake M, Morioka T, Inoue K, Fukushi M, Shimada Y, Kakinuma S: Exome of Radiation-induced Rat Mammary Carcinoma Shows Copy-number Losses and Mutations in Human-relevant Cancer Genes. Anticancer Research, 41(1):55-70, 2021/1
- 12) Inoue K, Fukushi M, Le VT, Vu NH, Tsukada M, Ichihara M, Taguchi Y, Sagara H: Changes on distribution of absorbed dose rate in air related with infrastructure projects on Phu Quoc Island, Vietnam. Radiation Environment and Medicine, 10(2), 2021/1
- 13) Yokomizo S, Nomura S, Wang Z, Kang H, Bao K, Yang C, Inoue K, Fukushi M, Kashiwagi S, Choi HS: CD117-targeted intraoperative imaging of gastrointestinal stromal tumor using zwitterionic near-infrared fluorophores. Proceedings SPIE,

著書

- 1) 井上一雅: 第1種放射線取扱主任者試験マスター・ノート, メジカルビュー社, 2021/3/21

Misc

- 1) 市原舞衣, 井上一雅, 塚田瑞穂, 渡辺光, 嘉藤達樹, 加藤碧, 福士政広: 千葉県北西部における空間線量率の変化. 日本保健科学学会誌, 23:10, 2020/10
- 2) 塚田瑞穂, 井上一雅, 窪岡大, 清水秀雄, Nimelan Veerasamy, 市原舞衣, 福士政広: 福島第一原子力発電所事故後における東京都23区の平均空間線量率の推移. 日本保健科学学会誌, 23:11, 2020/10
- 3) 塚田瑞穂, 井上一雅, 窪岡大, 清水秀雄, Nimelan Veerasamy, 市原舞衣, 福士政広: 福島第一原子力発電所事故後の東京都葛飾区における環境放射線量の推移. 日本保健科学学会誌, 23:11, 2020/10
- 4) 相良裕亮, 井上一雅, 大橋周平, 村松禎久, 福士政広: PET 計測における人体計数率を模擬可能な擬人的ファントムの開発. 日本保健科学学会誌, 23:12, 2020/10
- 5) 久保田丈, 西村まゆみ, 臺野和広, 宮坂佳樹, 真下知士, 井上一雅, 福士政広, 柿沼志津子, 今岡達彦: Brca1 遺伝子改変ラットにおける放射線誘発乳がんリスクおよび発がんメカニズムの解析. 日本保健科学学会誌, 23:12, 2020/10
- 6) 嘉藤達樹, 井上一雅, 福士政広: 福島第一原子力発電所事故後の伊豆大島における土壌中放射能濃度の推移. 日本保健科学学会誌, 23:31, 2020/10
- 7) 渡辺光, 臺野和広, 石川敦子, 今岡達彦, 西村まゆみ, 井上一雅, 福士政広, 柿沼志津子: 次世代シーケンス解析による放射線誘発ラット乳がんにおける融合遺伝子の探索. 23:31, 2020/10
- 8) 塚田瑞穂, 井上一雅, 窪岡大, 清水秀雄, Veerasamy Nimelan, 市原舞衣, 福士政広: 東京都葛飾区における人工放射性核種に起因した環境放射線量の推移. 診療放射線学教育学, 8:70, 2020/12
- 9) 市原舞衣, 井上一雅, 塚田瑞穂, 渡辺光, 嘉藤達樹, 福士政広: 福島第一原子力発電所事故に起因した千葉県東葛地区における空間線量率の変化. 診療放射線学教育学, 8:69, 2020/12
- 10) 渡辺光, 臺野和広, 石川敦子, 今岡達彦, 西村まゆみ, 井上一雅, 福士政広, 柿沼志津子: 次世代シーケンス解析を用いた放射線誘発ラット乳がんにおける融合遺伝子の検出. 診療放射線学教育学, 8:68, 2020/12
- 11) 久保田丈, 西村まゆみ, 臺野和広, 宮坂佳樹, 真下知士, 井上一雅, 福士政広, 柿沼志津子, 今岡達彦: 遺伝性乳がん動物モデルにおける放射線誘発乳がんリスクおよび発症メカニズムの解析. 診療放射線学教育学, 8:67, 2020/12
- 12) 梅本拓登, 鈴木順也, 大林史乃, 藤本憲市, 阪間稔, 井上一雅, 福士政広, 今城裕介, 福原隆宏, 遠藤倫崇: 放射能濃度深度分布推定のための深層学習データ生成法. 第19日本放射線安全管理学会学術大会講演予稿集, 2020/12

講演・口頭発表等

- 1) Narita M, Tani K, Kunisima N, Inoue K, Fukushi M, Kurihara O: Development of human neck voxel phantoms based on MRI images of 27 volunteers for accurate internal dose assessment. International Conference on Individual Monitoring of Ionising Radiation 2020, 2020/4/19

- 2) Narita M, Tani K, Kurihara O, Inoue K, Fukushi M: Application of alpha spectrometers for radiation control associated with targeted radiation therapy. International Conference on Individual Monitoring of Ionising Radiation 2020, 2020/4/19
- 3) Khoa PD, Yamazaki K, Nishii R, Kurihara O, Tani K, Inoue K, Fukushi M, Higashi T: Individual differences in internal dose from ^{99m}Tc-GSA hepatic scintigraphy. 日本保健物理学会第 53 回研究発表会, 2020/6/29
- 4) Veerasamy N, Kasar S, Murugan R, Kavasi N, Inoue K, Fukushi M, Sahoo SK: Geochemical characterization of monazite sands in placer deposit from Kanyakumari southern coast of Tamil Nadu, India: Implication of Uranium activity ratio and high content of rare earth elements. Terrestrial Radioisotopes in Environment International Conference on Environmental Protection, 2020/8/10
- 5) 塚田瑞穂, 井上一雅, 窪岡大, 清水秀雄, Nimelan Veerasamy, 市原舞衣, 福士政広: 東京都葛飾区における人工放射性核種に起因した環境放射線量の推移. 第 14 回日本診療放射線学教育学会学術集会, 2020/9/14
- 6) 渡辺光, 臺野和広, 石川敦子, 今岡達彦, 西村まゆみ, 井上一雅, 福士政広, 柿沼志津子: 次世代シーケンス解析を用いた放射線誘発ラット乳がんにおける融合遺伝子の検出. 第 14 回日本診療放射線学教育学会学術集会, 2020/9/14
- 7) 久保田丈, 西村まゆみ, 臺野和広, 宮坂佳樹, 真下知士, 井上一雅, 福士政広, 柿沼志津子, 今岡達彦: Brca1 遺伝子改変動物モデルにおける放射線誘発乳がんリスクおよび発症メカニズムの解析. 第 14 回日本診療放射線学教育学会学術集会, 2020/9/14
- 8) 市原舞衣, 井上一雅, 塚田瑞穂, 渡辺光, 嘉藤達樹, 福士政広: 福島第一原子力発電所事故に起因した千葉県東葛地区における空間線量率の変化. 第 14 回日本診療放射線学教育学会学術集会, 2020/9/14
- 9) 塚田瑞穂, 井上一雅, 窪岡大, 清水秀雄, Nimelan Veerasamy, 市原舞衣, 福士政広: 福島第一原子力発電所事故後の東京都葛飾区における環境放射線量の推移. 第 30 回日本保健科学学会学術集会, 2020/10/11
- 10) 渡辺光, 臺野和広, 石川敦子, 今岡達彦, 西村まゆみ, 井上一雅, 福士政広, 柿沼志津子: 次世代シーケンス解析を用いた放射線誘発ラット乳がんにおける融合遺伝子の検出. 第 30 回日本保健科学学会学術集会, 2020/10/11
- 11) 市原舞衣, 井上一雅, 塚田瑞穂, 渡辺光, 嘉藤達樹, 福士政広: 千葉県北西部における空間線量率の変化. 第 30 回日本保健科学学会学術集会, 2020/10/11
- 12) 久保田丈, 西村まゆみ, 臺野和広, 宮坂佳樹, 真下知士, 井上一雅, 福士政広, 柿沼志津子, 今岡達彦: Brca1 遺伝子改変ラットにおける放射線誘発乳がんリスクおよび発がんメカニズムの解析. 第 30 回日本保健科学学会学術集会, 2020/10/11
- 13) 久保田丈, 西村由希子, 臺野和広, 西村まゆみ, 宮坂佳樹, 真下知士, 井上一雅, 福士政広, 島田義也, 柿沼志津子, 今岡達彦: Radiation-induced breast cancer risk in Brca1 heterozygous rats. 日本放射線影響学会第 63 回大会, 2020/10/15
- 14) 渡辺光, 臺野和広, 石川敦子, 今岡達彦, 西村まゆみ, 井上一雅, 福士政広, 柿沼志津子: Analysis of fusion genes in radiation-induced rat mammary carcinoma. 日本放射線影響学会第 63 回大会, 2020/10/15
- 15) 梅本拓登, 鈴木順也, 大林史乃, 藤本憲市, 阪間稔, 井上一雅, 福士政広, 今城裕介, 福原隆宏, 遠藤倫崇: 放射能濃度深度分布推定のための深層学習データ生成法. 日本放射線安全管理学会第 19 回学術大会, 2020/12/9
- 16) Ichihara M, Inoue K, Shimizu H, Tsuruoka H, Veerasamy N, Tsukada M, Soyama S, Yagi M, Sagara H, Taguchi Y, Fukushi M: Changes of absorbed dose rate in air on asphalt paved roads related to Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. 15th

International Congress of the International Radiation Protection Association, 2021/1/18

- 17) Inoue K, Fukushi M, Le VT, Vu NH, Sagara H, Taguchi Y: Changes on absorbed dose rate in air related with road improvements on Phu Quoc Island, Vietnam. 15th International Congress of the International Radiation Protection Association, 2021/1/18
- 18) Tsukada M, Inoue K, Shimizu H, Tsuruoka H, Veerasamy N, Ichihara M, Sagara H, Taguchi Y, Fukushi M: Changes in environmental radiation levels in Katsushika-ku, Tokyo after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident. 15th International Congress of the International Radiation Protection Association, 2021/1/18
- 19) 渡辺光, 臺野和広, 石川敦子, 今岡達彦, 西村まゆみ, 井上一雅, 福士政広, 柿沼志津子: RNA シーケンス解析を用いた放射線誘発ラット乳がんにおける融合遺伝子の探索. 令和 2 年度東京大学がんプロフェッショナル養成プラン大学院生研究発表会, 2021/2/5
- 20) Yokomizo S, Nomura S, Wang Z, Kang H, Bao K, Inoue K, Fukushi M, Kashiwagi S, Choi HS: CD117-Targeted Intraoperative Imaging of Gastrointestinal Stromal Tumor Using Zwitterionic Near-infrared Fluorophores. Photonics West 2021, 2021/3/6

競争的資金等の研究課題

- 1) 井上一雅: 文部科学省, 多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン「量子イメージング技術者養成コース」, 2017/4-2022/3
- 2) 井上一雅: 公益財団法人住友財団, 環境研究助成「人工知能ニューラルネットワークを駆使した放射性セシウムの除染作業の効率化」, 2018/10-2021/9
- 3) 井上一雅: 独立行政法人環境再生保全機構, 環境研究総合推進費「AI 技術の活用による除去汚染土壌モニタリングシステムの開発」, 2019/4-2022/3
- 4) 井上一雅, 福士政広: 京都科学, 共同研究「放射線ファントム材料検査等について」, 2019/2-2023/3
- 5) 井上一雅: 独立行政法人日本学術振興会, 二国間交流事業オープンパートナーシップ共同研究「近赤外/核医学複合分子プローブを駆使した膵臓がん複合ガイド手術支援技術の開発」, 2020/4-2022/3
- 6) 井上一雅: 東京都立大学, 学長裁量枠(研究環)「低線量率慢性被ばくによる生体影響研究」, 2020/5-2021/3
- 7) 井上一雅: 東京都立大学, 傾斜配分研究費「放射線グラフト重合法を駆使したガドリニウム造影剤に起因する環境汚染低減対策」, 2020/6-2021/3
- 8) 井上一雅: 公益財団法人クリタ水・環境科学振興財団, 自然技術1「環境水として放出される高濃度ガドリニウムの起源探索と環境負荷低減法の開発」, 2020/10-2021/9
- 9) 井上一雅: 公益財団法人日本生命財団, 若手研究・奨励研究助成金「水道水に含まれる人為起源ガドリニウムに関する研究」, 2020/9-2022/3
- 10) 井上一雅: 公益財団法人泉科学技術振興財団, 2020 年度研究助成「放射線グラフト重合技術の活用による Gd 造影剤吸着技術の開発」, 2020/10-2022/9
- 11) 井上一雅: 医健エンジニアリング株式会社, 共同研究「放射線防護材の研究」, 2017/4-2022/3
- 12) 井上一雅: 東京都立大学, 派遣留学生支援制度「膵臓がんにおける蛍光/核医学ガイド手術支援を可能とする多機能低分子プローブの開発」, 2019/10-2020/5
- 13) 井上一雅: 公益財団法人高橋産業経済研究財団, 研究助成金「低線量率慢性被ばくによる生体影響研究」, 2020/4-2022/3
- 14) 井上一雅, 福士政広: 日本学術振興会, 科学研究費助成事業 基盤研究(B)「先端医療検査の発展に潜む MRI ガドリニウム造影剤に起因した環境負荷低減技術の開発」, 2019/4-2024/3
- 15) 福士政広, 井上一雅: 日本学術振興会, 科学研究費助成事業 基盤研究(B)「ポータブル α 線スペクトルサ

受賞

- 1) 久保田丈, 今岡達彦, 西村まゆみ, 臺野和広, 宮坂佳樹, 真下知士, 井上一雅, 福士政広, 島田義也, 柿沼志津子: 日本放射線技術学会東京支部 新人研究奨励賞, 2020/5
- 2) Veerasamy N, Kasar S, Murugan R, Kavasi N, Inoue K, Fukushi M, Sahoo SK: Terrestrial Radioisotope in Environment International Conference on Environmental Protection, 2020 Young Profession Award, 2020/8
- 3) 久保田丈, 西村由希子, 臺野和広, 西村まゆみ, 宮坂佳樹, 真下知士, 井上一雅, 福士政広, 島田義也, 柿沼志津子, 今岡達彦: 日本放射線影響学会第 63 回大会 優秀発表賞, 2020/10

社会貢献活動

- 1) 井上一雅: 中央医療技術専門学校: 診療放射線技師国家試験対策かつしかセミナー(放射線計測学). 講師, 2021/2/1
- 2) 井上一雅: 日本医学物理士会: ミニマム講習会(核医学物理学). 講師, 2020/5/30
- 3) 井上一雅: 第 30 回日本保健科学学会学術集会: 実行委員, 2020/5/1-2020/10/14
- 4) 井上一雅: 東京都立大学放射線業務従事者教育訓練. 講師, 2020/4/5
- 5) 井上一雅: 第 119 回日本医学物理学会学術大会: CyPos 審査委員, 2019/12/1-2020/6/1
- 6) 井上一雅: 第 119 回日本医学物理学会学術大会: プログラム委員, 2019/5/1-2020/6/1
- 7) 井上一雅: ハーバード大学医学部客員教授, 2019/5/1-現在
- 8) 井上一雅: 東京都立大学同窓会評議員, 2016/4/1-現在
- 9) 井上一雅: 原子力規格委員会放射線管理分科会委員, 2015/7/1-現在

論文

- 1) 齋藤祐樹,小倉泉,根岸徹:乳房用 X 線装置の品質管理システムの開発,日本乳癌検診学会 Japan Association of Breast Cancer Screening, 30(1):114-120, 2021/3/1

講演・口頭発表等

- 1) 齋藤祐樹,小倉泉,根岸徹他:小児胸部撮影における体指標と画像感度指標の検討,日本放射線技術学会 第76回総合学術大会,2020/4/11
- 2) 齋藤祐樹,小倉泉,根岸徹:乳房用 X 線装置の品質管理プログラムの開発,第30回日本乳癌検診学会学術大会,2020/11/1

論文

- 1) Hitomi Takagi, Shin Yanagisawa, Yusuke Koba, Kiyomitsu Shinsho: Basic study of an effective energy measurement method using a stacked thermoluminescence dosimeter, *Radiation Measurements*, 133, 106283, 2020/4
- 2) Daiki Maruyama, Shin Yanagisawa, Yusuke Koba, Takayuki Andou, Kiyomitsu Shinsho: Usefulness of thermoluminescent slab dosimeter for postal dosimetry audit of external radiotherapy systems, *Sensors and Materials*, 32(4):1461-1477, 2020/4
- 3) Shin Yanagisawa, Daiki Maruyama, Ryoken Oh, Yusuke Koba, Takayuki Andou, Kiyomitsu Shinsho: Two-dimensional thermoluminescence dosimetry using Al₂O₃:Cr Ceramics for 4, 6, and 10 MV X-ray Beams, *Sensors and Materials*, 32(4):1479-1487, 2020/4
- 4) Risa Shimomura, Yusuke Koba, Weishan Chang, Masanori Koshimizu, Yutaka Fujimoto, Hiroki Kawamoto, Daiki Maruyama, Kazuki Matsumoto, Hiroaki Ushiba, Takayuki Andou, Kiyomitsu Shinsho: Thermoluminescence efficiency and glow curves of Cr-doped Al₂O₃ ceramic TLD for a wide linear energy transfer range, *Radiation Measurements*, 134, 106356, 2020/6
- 5) Shin Yanagisawa, Yusuke Koba, Shigekazu Fukuda, Kiyomitsu Shinsho: Bulk-density controlled thermoluminescence dosimeters based on Al₂O₃:Cr ceramics as anthropomorphic phantom dosimeters for photon therapy, *Radiation Measurements*, 136, 2020/8

著書

- 1) 放射線計測学, オーム社, 2020/8
- 2) 放射化学, 共立出版, 2020/9

Misc

- 1) 眞正浄光, 古場裕介, CHANG W., 柳澤伸, 丸山大樹, 下村理紗, 高木瞳, OH R., 工藤森海, 田中誠也, 菅原理, 古塩夏芽, 提箸瑚乃香, 中村柚月, 吉田実加, 杉岡奈津美, 若林源一郎, 川路康之, 福田茂一: 熱蛍光板状線量計による重粒子線の線量分布測定法及び簡易型 LET 分布測定法に関する研究, 量子科学技術研究開発機構研究報告書(Web), (17), 2020
- 2) 石塚彩奈, 稲田龍司, 川路康之, 眞正浄光, 渡邊祐介, 下野哲範: Cr 添加 Al₂O₃ セラミック板の高エネルギー放射線における線量応答特性, 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 76th, 2020
- 3) 高木瞳, 柳澤伸, 古場裕介, 眞正浄光: 積層させた2種類のTLDの吸収線量の検討, 放射線(Web), 46(1), 2020
- 4) 田中誠也, 王良健, 柳澤伸, 若林源一郎, 島津美宙, 田中浩基, 安藤隆之, 眞正浄光: Cd 中性子コンバータを用いた熱中性子測定に対する熱蛍光量とラジオクロミックフィルム濃度の比較, 放射線(Web), 46(1), 2020
- 5) 王良健, 柳澤伸, 古場裕介, 安藤隆之, 眞正浄光: Al₂O₃:Cr を用いた電子線に対する二次元線量分布測定. 放射線(Web), 46(1), 2020
- 6) 菅原理, 下村理紗, 柳澤伸, 丸山大樹, 古場裕介, 張維珊, 安藤隆之, 眞正浄光: H 線に対する Al₂O₃:Cr TLD とラジオクロミックフィルムの軸外線量比と線量応答特性の比較, 放射線(Web), 46(1), 2020
- 7) 下村理紗, 古場裕介, 張維珊, 安藤隆之, 眞正浄光: Al₂O₃:Cr セラミック板による炭素線深部量百分率測定の LET 依存性補正, 放射線(Web), 46(1), 2020
- 8) 櫻井良憲, 瓜谷章, 石川正純, 納富昭弘, 遠藤暁, 田中憲一, 眞正浄光, 笈田将皇, 林慎一郎, 田中浩基, 黒澤俊

介,谷森達,中村哲志,高田卓志,保田浩志,宇野彰二,道上宏之,村田勲:BNCT に関する総合的線量評価システムの構築,KURNS-EKR (Web), (6), 2020

講演・口頭発表等

- 1) 真正浄光,柳澤伸:Basics and applications of the ionizing radiation imaging using thermoluminescence,第 119 回日本医学物理学会学術大会,2020/5/15
- 2) 王良健,柳澤伸,田中浩基,高田卓志,若林源一郎,田中誠也,杉岡菜津美,古場裕介,真正浄光]:Thermal and Epithermal Neutron Measurements Using Thermoluminescence Phosphor Cr Doped Al_2O_3 and Cd Converter,第 119 回日本医学物理学会学術大会,2020/5/15
- 3) 王良健,柳澤伸,田中浩基,高田卓志,若林源一郎,田中誠也,杉岡菜津美,古場裕介,真正浄光:Cd コンバータを設置したクロム添加アルミナ熱蛍光線量計の中性子に対する線量応答性,次世代放射線シンポジウム 2020,2020/8/20
- 4) 真正浄光,柳澤伸,古場裕介:熱蛍光板による人体模型型線量計の開発,次世代放射線シンポジウム 2020,2020/8/20
- 5) 田中誠也,中村柚月,菅原理,古場裕介,張維珊,真正浄光:陽子線、He イオン線に対する MgF_2 の熱蛍光特性,次世代放射線シンポジウム 2020,2020/8/21
- 6) 菅原理,真正浄光,古場裕介,張維珊,田中誠也:異なる粒子線に対する BeO セラミックス板の熱蛍光の線量応答特性,次世代放射線シンポジウム 2020,2020/8/21
- 7) 真正浄光:Cr 添加 Al_2O_3 のレーザー加熱式熱蛍光測定法による熱蛍光特性,第 16 回 次世代先端光科学研究会,2020/11/30

受賞

- 1) 王良健,柳澤伸,田中浩基,高田卓志,若林源一郎,田中誠也,杉岡菜津美,古場裕介,真正浄光:応用物理学会放射線分科会 次世代放射線シンポジウム 2020 優秀研究賞及び優秀発表賞「Cd コンバータを設置したクロム添加アルミナ熱蛍光線量計の中性子に対する線量応答性」, 2020/8

特許

- 1) 真正浄光:特願 2020-197373, 2020/11/27 「熱蛍光測定方法及び熱蛍光測定装置」

委員歴

- 1) 第 119 回 日本医学物理学会 実行委員
- 2) 応用物理学会 次世代放射線シンポジウム 2020 実行委員
- 3) 文部科学省 科学技術・学術政策研究所 専門調査員(2019/7-)

論文

- 1) Daiki Ito, Tomokazu Numano, Takamichi Ueki, Tetsushi Habe, Toshiki Maeno, Kouichi Takamoto, Keisuke Igarashi, Surendra Maharjan, Kazuyuki Mizuhara, Hisao Nishiyo: Magnetic resonance elastography of the supraspinatus muscle: A preliminary study on test-retest repeatability and wave quality with different frequencies and image filtering, Magnetic Resonance Imaging, 2020/4
- 2) Tomoya Kobayashi, Masahiro Yoshida, Tomokazu Numano, Seiji Shiotani, Hajime Saitou, Kazuya Tashiro,
- 3) Satoka Someya, Kazunori Kaga, Katsumi Miyamoto, Hideyuki Hayakawa: Noise reduction effect of computed tomography by image summation method (fused CT): Phantom study, Forensic Imaging, 23:200418, 2020/12
- 4) Toshiyuki Yuhara, Tomokazu Numano: [Improvement of SNR When Adding X-ray Images with Different SNRs]. Nihon Hoshasen Gijutsu Gakkai zasshi, 76(8):828-836, 2020
- 5) Tomoya Kobayashi, Moyu Yamamori, Seiji Shiotani, Tomokazu Numano, Yoshiyuki Ishimori, Shinji Abe, Hideyuki Hayakawa: Star-trail artifacts of the advanced-putrefied brain on postmortem CT, Forensic Imaging, 24:200432, 2021/3
- 6) Toshiyuki Yuhara, Tomokazu Numano: Examinations for creating an image of unacquired dose from the images of two types of dose in digital radiography, Journal of X-ray science and technology, 29(4):597-615, 2021

Misc

- 1) 三澤雅樹, 松本孔貴, 沼野智一, 新田尚隆, 岡田朋子, 余語克紀: 放射線治療用金ナノ粒子増感剤による腫瘍免疫誘導とその評価, 日本 DDS 学会学術集会プログラム予稿集, 36 回:170, 2020/8
- 2) 沼野智一: 初めての MR エラストグラフィ, 日本磁気共鳴医学会雑誌, 40(3):110-117, 2020/8
- 3) 油原俊之, 沼野智一: SNR の異なる X 線画像を加算した際の SNR の改善に関する報告, 日本放射線技術学会雑誌, 76(8):828-836, 2020/8
- 4) 三澤雅樹, 新田尚隆, 松本孔貴, 余語克紀, 沼野智一, 岡田朋子, 大西健: 放射線とナノメディシン-放射線生物・治療学におけるナノ粒子の役割- 金ナノ粒子放射線増感剤の増感効果と腫瘍集積評価 (Radiation and Nanomedicine-Roles of nano-particles in radiation biology and therapeutics Radiosensitization and Tumor Accumulation of Goldnanoparticle Radiosensitizer), 63 回:47, 2020/10
- 5) 坂田大喜, 沼野智一, 伊東大輝, 波部哲史, 竹田賢吾, 山口璃己, 金井翠里: MR Elastography における振動位相分割数と振動検出傾斜磁場強度の効果, 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 77 回 202, 2021/3
- 6) 山口璃己, 沼野智一, 伊東大輝, 波部哲史, 坂田大喜, 竹田賢吾, 水原和行: MR Elastography における加振パッド形状と振動強度の関係, 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 77 回:201-202, 2021/3
- 7) 金井翠里, 沼野智一, 波部哲史, 坂田大喜, 竹田賢吾, 山口璃己, 長田海豊: MR Elastography における Band-pass Filter の特性, 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 77 回:201, 2021/3
- 8) 長田海豊, 沼野智一, 波部哲史, 竹田賢吾, 山口璃己, 坂田大喜, 金井翠里: MR Elastography における Repetition Time 設定が及ぼす影響, 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 77 回:201, 2021/3
- 9) 沼野智一, 伊東大輝, 波部哲史, 水原和行, 竹田賢吾, 坂田大喜, 山口璃己: 新しい MR Elastography 技術とその機序, 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 77 回:153, 2021/3
- 10) 竹田賢吾, 沼野智一, 伊東大輝, 波部哲史, 山口璃己, 坂田大喜, 長田海豊: 撮像時間短縮と振動位相分割数増加を両立する方法の大腰筋への適用, 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 77 回:152, 2021/3

- 11) 波部哲史, 沼野智一, 伊東大輝, 高本考一, 坂田大喜, 竹田賢吾, 山口璃己: 健常者における MR Elastography を用いた大腰筋弾性率測定, 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 77 回: 152, 2021/3
- 12) 伊東大輝, 沼野智一, 波部哲史, 水原和行, 布川嘉信, 奥田茂男, 陣崎雅弘]: 弾性率計測を自動化する新たな MR エラストグラフィ技術の開発 Coherent-Wave Auto-Selection(CHASE), 日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 77 回: 151-152, 2021/3

講演・口頭発表等

- 1) 竹田賢吾, 沼野智一, 伊東大輝, 波部哲史, 前野利樹, 山口璃己, 坂田大喜: 撮像時間を延長せずに振動位相分割数を増加させる方法の特性, 第 76 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2020
- 2) 山口璃己, 沼野智一, 伊東大輝, 波部哲史, 前野利樹, 坂田大喜, 竹田賢吾: 大腰筋用 MRE 加振パッド開発, 第 76 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2020
- 3) 坂田大喜, 沼野智一, 伊東大輝, 波部哲史, 前野利樹, 竹田賢吾, 山口璃己: 大腰筋 MR Elastography における振動位相分割数と振動感度の影響, 第 76 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2020
- 4) 油原俊之, 沼野智一: 画像合成による SNR 変化画像のノイズ特性, 第 76 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2020
- 5) 五十嵐佳佑, 沼野智一, 高橋光幸: 肝臓 MR Elastography において呼吸による位置ズレを定量評価する指標, 第 76 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2020
- 6) 波部哲史, 沼野智一, 伊東大輝, 前野利樹, Surendra Maharjan, 水原和行, 高本考一: MR Elastography による股関節屈曲時の大腰筋弾性率変化, 第 76 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2020
- 7) 伊東大輝, 沼野智一, 波部哲史, 前野利樹, Surendra Maharjan, 水原和行, 高本考一: 異なる振動位相画像の同時収集が可能な新たな MR Elastography 技術の開発, 第 76 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2020
- 8) 沼野智一, 伊東大輝, 水原和行, 鷲尾利克, 波部哲史, 前野利樹: MR 強度画像による新しい MR Elastography 技術, 第 76 回日本放射線技術学会総会学術大会, 2020
- 9) 山口璃己, 沼野智一, 伊東大輝, 波部哲史, 坂田大喜, 竹田賢吾, 水原和行, 高本考一: 対象を効率よく揺らす加振パッド開発, 第 48 回日本磁気共鳴医学会大会
- 10) 坂田大喜, 沼野智一, 伊東大輝, 波部哲史, 竹田賢吾, 山口璃己, 水原和行: MR Elastography における振動位相分割数と振動感度の影響, 第 48 回日本磁気共鳴医学会大会
- 11) 竹田賢吾, 沼野智一, 伊東大輝, 波部哲史, 山口璃己, 坂田大喜, 水原和行, 高本考一: 撮像時間短縮と振動位相分割数増加を両立する方法, 第 48 回日本磁気共鳴医学会大会
- 12) 波部哲史, 沼野智一, 伊東大輝, 坂田大喜, 竹田賢吾, 山口璃己, 高本考一: MR elastography における弾性率算出方法と算出精度: デジタルファントムによる検討, 第 48 回日本磁気共鳴医学会大会
- 13) 伊東大輝, 沼野智一, 波部哲史, 水原和行, 岡部幸司, 奥田茂男, 陣崎雅弘: MR エラストグラフィにおける弾性率評価領域の自動抽出 (CHASE), 第 48 回日本磁気共鳴医学会大会
- 14) 沼野智一, 伊東大輝, 水原和行, 鷲尾利克, 波部哲史, 坂田大喜, 竹田賢吾, 山口璃己]: MR 強度画像を利用する MR Elastography 技術の機序解明, 第 48 回日本磁気共鳴医学会大会
- 15) 波部哲史, 沼野智一, 伊東大輝, 高本考一, 坂田大喜, 竹田賢吾, 山口璃己, 水原和行, 西条寿夫: 股関節屈曲による大腰筋収縮の定量的評価: MR elastography による弾性率測, 第 28 回日本腰痛学会
- 16) 沼野智一, 波部哲史, 伊東大輝, 高本考一, 山口璃己, 竹田賢吾, 坂田大喜, 水原和行, 西条寿夫: 非特異的腰痛の統合的画像診断技術: MR elastography と Dixon 法の融合, 第 28 回日本腰痛学会

競争的資金等の研究課題

- 1) 沼野智一:株式会社ナガレーベン 受託研究「X線画像診断用検査着の評価」,2010-
- 2) 沼野 智一:文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))「非特異的腰痛の画像診断を可能にする新しいMR エラストグラフィ技術の開発」,2019/4-2022/3

特許

- 1) 三澤雅樹,鷺尾利克,新田尚隆,瀬川武彦,木下幸一,高田尚樹,大山英明,沼野智一,原秀剛,新井知大,小林智哉:特願 2020-132373, 2020/8/4 「感染防護カプセル」

委員歴

- 1) 日本磁気共鳴専門技術者認定機構(JMRTS) 理事(2015/4-)

論文

- 1) Takuji Tsuchida, Toru Negishi, Yuka Takahashi, Ryuko Nishimura: Dense-breast classification using image similarity, Radiological Physics and Technology, 13(2):177-186, 2020/6/1
- 2) Tokiko Nakamura, Shoichi Suzuki, Kyoichi Kato, Napapong Pongnapang, Naoki Hayashi, Chie Kurokawa, Ikuo Kobayashi, Toru Negishi, Tamaki Matsunami: Effect of protective glasses on radiation dose to eye lenses during whole breast irradiation, Journal of Applied Clinical Medical Physics, 21(11):272-277, 2020/11
- 3) H S Niroshani, Jeyasingam Jeyasugiththan, G Senanayake, Toru Negishi: Establishment of regional diagnostic reference levels for digital mammography in Western Province of Sri Lanka, Journal of Radiological Protection, 41:79-96, 2021/3
- 4) Tokiko Nakamura, Kyoichi Kato, Shoichi Suzuki, Ikuo Kobayashi, Toru Negishi: Analysis of the breast composition and the effect of compositional differences on the mean mammary gland dose (MGD) in digital mammography, Nihon Nyugan Kenshin Gakkai (Journal of Japan Association of Breast Cancer Screening), 30(1):67-74, 2021

著書

- 1) 新・医用放射線技術実験[基礎編] 第4版, 2020/12
- 2) 新・医用放射線技術実験[臨床編] 第4版, 2020/12

Misc

- 1) IoT デバイスを使用した半導体測定器の開発, 第76回日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 284, 2020/5
- 2) デジタル乳房トモシンセシスにおける実際の測定による各深度での吸収線量とモンテカルロシミュレーションによる深部線量の評価, 第76回日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 283, 2020/5
- 3) フェイスガードの拡張の検討, 第76回日本放射線技術学会総会学術大会予稿集, 288, 2020/5
- 4) 根岸徹, 五十嵐隆元, 久保田一徳, 斎政博, 西出裕子: 日本の診断参考レベル(2020年版) ※マンモグラフィ, 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所 放射線防護情報統合センター 医療被ばく研究情報ネットワーク, 2020/7.
- 5) 根岸徹, 原田康雄, 鬼頭慎司, 奥村泰彦, 大高祐聖, 井澤真希, 芝規良, 小倉泉, 石丸智也, 伊藤祐希: 口内法 X線撮影装置のための半導体線量計の開発, NPO 法人日本歯科放射線学会 第1回秋季学術大会 Web 抄録集, 2020/10

競争的資金等の研究課題

- 1) 井上一雅, 根岸徹: 「放射線防護材の研究」, 2017/4-2022/3
- 2) 小倉泉, 根岸徹: 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C)「乳房用 X線撮影装置の日常管理用測定器の開発と管理システムの構築」, 2019/4/1-2022/3/31
- 3) 加藤洋, 根岸徹, 関本道治: 「放射線従事者の鉛暴露に関する研究」, 2019/5-2020/9
- 4) 根岸徹: 「低被ばく X線透過部材の研究開発」, 2019/10-2021/9

委員歴

- 1) 学术交流委員会標準化小委員会 班員(1997-)

講演・口頭発表等

- 1) Kengo Miyazaki,Atsushi Myojoyama: Investigation for measurement of photon depth dose using UVC camera, Asia-Oceania Congress on Medical Physics(AOCMP) 2020 Phuket Island, Thailand, 2020/12/3
- 2) Atsushi Myojoyama, Minami Nakao, Hidetoshi Saitoh: Focus control of electron beam for arbitrary field formation, Asia-Oceania Congress on Medical Physics(AOCMP) 2020 Phuket Island, Thailand, 2020/12/3
- 3) Takatomo Ezura, Atsushi Myojoyama, Terufumi Kusunoki, Daisaku Yoshida: Development of facial recognition system for patient safety: Analysis of benchmark data, Asia-Oceania Congress on Medical Physics(AOCMP) 2020 Phuket Island, Thailand, 2020/12/3
- 4) Yuki Mitsui, Atsushi Myojoyama: Development of vascular dynamic phantom for multi-modality, 第119回日本医学物理学会学術大会 119th Scientific Meeting of JSMP, 2020/4/11
- 5) Minami Nakao, Atsushi Myojoyama: Convergence Control of Electron Beam for Arbitrary Field Formation and Its Influence on Dose Distribution, 第119回日本医学物理学会学術大会 119th Scientific Meeting of JSMP, 2020/4/12

東京都立大学 健康福祉学部 研究費評価・配分委員会部会

部会長	渡 邊	賢	(学部長)
委員	織 井	優貴子	(看護学科長)
委員	山 田	拓実	(理学療法学科長)
委員	塩 路	理恵子	(作業療法学科長)
委員	白 川	崇子	(放射線学科長)